THE KEIJO NIPPO　大正六年十二月十一日　第三千六百七十五號（一）
京城日報
十日夕刊（朝夕刊併せて八頁）

○宣戰布告可決
米國對墺匈國＝八日より實行

米國下院は十二對三百六十三の多數を以て墺匈國に對し宣戰布告の決議案を可決したり同決議案は八日より實行さる可し（華盛頓電報）

○羅軍休戰承諾
全戰線に亘りて戰鬪中止

羅馬尼軍は休戰を承諾するに決し全戰線に亘りて戰鬪は中止されたり敵は此の休戰決定の報道を喝采して迎へたるが羅馬尼軍は肅然たる態度を持して敵兵と親和する事を避けたり（倫敦電報）

○外國武官避難說
露國總司令部が過激派の手に墜ち總司令官及び露都駐在外國武官は某地に避難せりと傳せり（ベルン電報）

○英露人釋放拒絕
墺國通信は更に露國過激派政府は英國に抑留中の露國人二名の釋放を英政府に交涉したるが英政府は右釋放歸國を拒絕する旨の回答を六日過激派政府に交附せるより在留英國人は不安の念を抱きつゝあり（倫敦電報）

○第二復辟計畫中
王士珍氏北洋督軍連贊成か

陸榮廷氏の密使は北京に到著し馮總統と第二復辟の畫策中にて王士珍氏以下北洋派督軍連も既に此の議に贊したるものゝ如く徐樹錚氏の如き又贊成者の一人なりとの說あり此の際段祺瑞氏の態度最も注目す可く時局或は急轉直下せん形勢なり（北京特電）

○南方討伐不可能
天津會議は既に南方討伐に決し奉天、山東、安徽、直隸の四督軍は出兵に著手したるも軍費に窮し財政部と紙幣五百萬元乃至一千萬元の發行の協議を爲し居れるが此の發行は支那財界を攪亂する事甚だしきものなれば遂に各省の反對を招き從つて出兵も不可能となるに至るべしと（北京特電）

○永江氏逝去
前代議士永江純一氏は豫て病中の處九日福岡縣三池郡江浦にて逝去せり（福岡電報）

○津村教授辭職
神戶高等商業學校の新任教授津村秀松氏は今回愈々辭職せるが久原に入り理事となるべしと（神戶特電）

○古海總長馬山著
九日朝京城を出發したる古海警務總長は同日夕馬山著十日より馬山鎭海の警務事務を檢閱し晉州に向ふ筈（馬山電）

○高瀨理事出發
東拓奉天駐在理事高瀨梅吉氏は十日夜奉天發朝鮮經由東上の豫定なるが十一日京城に著すべく京城には二、三日滯在し諸般の打合せを爲したる上東京へ向ふ可く歸奉は明年一月頃となる可し（奉天特電）

○小西支店長歸奉
小西鮮銀奉天支店長は九日夜歸奉せり（奉天特電）（?）

◎農業技術官會議（第一日）
各道農業技術官會議第一日は十日午前十時より總督府第二會議室に於て開會山縣政務總監は別項揭載の訓示を代讀し次で指示事項に移り正午一先づ休憩午後一時再開し諮問事項に對する各道の答申ありたり

朝鮮に於ける農業は近時長足の進步を爲し各種物產の增殖と其の品質の向上を來し成績の見るべきもの尠からず加ふるに時局の影響に依り其の需要增加し價格亦騰貴したるが爲食料又は工業原料として內地及び外國に移輸出せらるゝもの頗る多く從て近時農村の經濟稍其の面目を一新せむとするの觀あるは寔に喜ぶべきなり各位は此の機會に於て更に生產の增加を圖ると共に地方民の浪費を戒め所得の增加を之を有用の使途に供せしめ以て益々其の福利を增進するに努むべし然れども農家の現狀に徵するに其の經濟は尙ほ窮乏の域を脫せず農業振作の前途は實に遼遠なりと謂ふべし各位は宜しく大に土地の利用の方法を講じ其の宜しきに從ひて作物を分排するは勿論適當なる肥料の增施及び耕作の擴張に依り收穫の增加を圖るに止まらず養蠶及び豚雞の飼養等に依り勞力の剩餘を利用すると共に地方に好適する副業を授くるに付遺憾なきを期すべし農事の奬勵は農民に直接する地方郡在吏員の實地指導に負ふ所最も多きは論を待たざる所なり然るに其の指導未だ周到ならず旨趣の貫徹を缺ぐものあるを認む各位は是等吏員の指導に關し適當の計畫を定め又一面農會團體、地主、模範農及び內地人移民の勸奬に力を致すと共に地主小作人間の親睦を圖り以て一層農事改良施設の進捗を圖るべし稻作、棉作、養蠶、畜牛は實に朝鮮農業の眼目にして之が生產の增殖改良に付ては屢次其の方針を諭示したるに依り各位は其の意を體し銳意之が目的に副はん所あるべきを信ず尙米穀及び大豆の檢査に關する事項に付ては別に指示する所あるに依り宜しく其の旨趣に遵ひ實施上苟も遺憾なきを期す可し又棉花の栽培に付ては今や漸く陸地棉作の普及に關する第一期計畫の實行を了へなとし更に第二期計畫を定むるの要あり依て本府に於ても之が計畫を進めつゝあるも亦地方の實情と共に鑑み愼重なる調査研究を要す須らく[illegible]

◎鮮滿財界膨脹
朝鮮及び滿洲　鮮銀總裁美濃部氏談

十日午前歸京せし美濃部鮮銀總裁は語る（中略）最近朝鮮滿洲の財界も揉團財界の大勢に順應して更に生產の增加を圖ると共に[illegible]に鮮滿財界も膨脹したが假へば朝鮮銀行券の如きも予が總裁に就任した昨秋は非常に[illegible]來たが今年に入るも漸く四千六百萬圓に上り年末には六千七百萬圓位に達するであらうと思ふ[illegible]れは素より滿洲に於ける正金の金券を鮮銀で統一した事並びに物價騰貴の結果、均しく商品を擴張とす

◎朝鮮の物資を世界的に
滿洲に於ける鮮銀方面の施設　美濃部俊吉氏談

△鮮銀の對滿方針　滿洲に於ける朝鮮銀行の金券統一、國庫事務の讓受、遼陽鐵嶺旅順三出張所の新設等は現政府の對鮮滿金融方針に[illegible]

◎鮮銀重役會議
朝鮮銀行にては十日午前十一時より京城本店に於て美濃部總裁[illegible]重役會議を開[illegible]

一部の新品種の飼育を開始せむとするにあり之が實行に關し特に周密なる注意を爲すの必要あり之を認むる終に各位は此の機會を利用し十分なる意見を披瀝し以て施政上に資する所あらむことを望む

△露の紛糾と留　露國の前途は何等未だ決定して居ないとも思ふ、尤も何等想定が出來ない事ではないが實に混沌で予等にも何等想定がつかぬ、中央でも當路者に就き折衝して其の意見を聞ゐたが、殆ど見當はつかないやうである[illegible]

○米大統領教書（一）
對獨戰爭の意義を論ず

米國大統領ウイルソン氏の第六十五回國會に送れる敎書左の如し

兩院諸君予は茲に我國に取て重大の關係ある此件に關する現在の大局と我國の懷抱する目的を遂行するの直接方法とを論敍せんとす

△目的は戰勝に在り　予は溯りて現戰爭の原因を論せず獨逸の兇惡なる治者が我國に加へたる非行の數々を再び玆に論ずるは要なし又我國に對して計畫したる非行の甚だ憎むべきことは既に能く知られ今や復た眞正の米國人に向て之を反覆するを要せざるべし唯玆に論ずべきは實行なり而して實行とは直ちに一定の目的に向て進むにあり我が目的は素より戰勝に在り我國は戰勝の目的を貫徹するまでは手として步武を緩めず又一步も轉ずべからざるは言を待たず然りと雖も如何なる時を以て戰勝と見做すべき乎我國に在ては特に其の根本事實を解說するの必要なからん予は現戰爭が何等の動機より起れる乎又如何なる結果を來さんとするかを我國々民に熟知せることを疑はず

△國民の聲は一なり　國民は全體として精神に於て將た意圖に於て一致せり予は之に向つて然らずと云ふ者あるを聞かず予は反對者の聲を聞く能はず[illegible]

△平和と其の代價　予は茲に二事を擧げて言はん予は[illegible]

◎獨墺休戰公報
休戰談判尙進行中

△獨逸公報　多くの地點に於て局地休戰に移れるが[illegible]
△墺公報　二日午後四時半我が戰線に著せる露國委員は直ちに[illegible]

◎鮮銀總裁著京
朝鮮銀行總裁美濃部俊吉氏は秘書役子爵曾禰安輔氏帶同十日午前十一時南大門驛著列車にて著京多數の出迎へを受け直ちに自動車を驅つて銀行に入れり

◎高瀨理事入京期
東拓理事高瀨梅吉氏は十日夜奉天發十一日夜入京の事となりたり

◎櫻井代議士入京
代議士櫻井兵五郞氏は十日[illegible]

◎小原長官慰勞晚餐會
小原農商工部長官は十日午後六時より[illegible]

◎京城電氣張宴
京城電氣株式會社支配人木倉二氏は十二月九日夜花月に於て京城記者團を招待して盛宴を張れり

◎中村檢事長講演
米國より歸任したる京城覆審法院檢事長中村竹藏氏は來る十五日午後一時三十分より高等法院に於て北米合衆國に於ける犯罪の豫防及び矯正に關する施設の狀況に就て講演を爲すべしと

◎久水外事課長入院
久水外事課長は持病の爲め八日久枝外科病院に入院したるが經過良好にて二週間位にて退院の見込也と

◎總稅務司北行
入京中なりし支那總稅務司アグレン氏は九日午前九時四十分南大門驛發列車にて奉天に向へり

◎關屋學務局長歸任
出張中なりし關屋學務局長は九日夜歸任せり

人事消息
▲山崎猛氏　京元本社理事山崎猛氏は德富本社監督に隨行し支那漫遊中の處歸途下關にて一行に別れ九日夜歸京したり

▲宮館貞一氏（總督府總務局會計課長）九日夜天安へ

▲大橋恒藏氏（平壤商業會議所會頭）入京不知火へ

▲中川一格氏（關西石油株式會社取締役）九日午後內地へ

▲中島司氏（十日朝京城發歸國）

忙中閑記（二）
大阪にて　青霞生

○前者には仙國郞芳文春、樂松園長閒、東京では廣業、觀山、輝方、蕉園などを算ふべく、後者には栖鳳、竹喬、田桂仙、或は鐵齋、折溪仙、巧みに折衷して時に日本畫の趣味にも調和を保つやう試みられた支那趣味の頭目とも見るべきに大觀あり（在來の題材から推して）近くは橋本關雪の成功せる等選べば幾らも見出す事ができる、二者の外に和洋折衷を試みた印象派風のものや期印象派風のゴーホあたりを狙つたもの或は院派や其他新進に可なり多く見うけるが、目下日本の室內裝飾用として繪畫の交涉はないと云つて差支ない、折衷あたりの繪は面白いには面白いが座敷へ飾つて日下の日本の調度とは尙未だ何となく調和がとれない、何うしても一般社會の歡迎する現時の建築調度に調和した美術趣味は前記の二流に出る事ができない。

○それから佛教美術趣味も又日本では見逃すべからざるものゝ一つである、日本の古代美術は佛教に負ふ處重大であるのは云ふ迄もない、日本の美術音樂は佛教藝術であると云つても差支ない程である足利時代に起つた茶道は禪學趣味から發足して居る、日本の建築は多く佛敎趣味である、彫刻は全然佛教趣味で一步も外へ出る事がなかつた、繪畫も書道も詩歌も恐らく佛教の影響を蒙らぬものは一つもない

○近頃大流行の骨董中にも蒐家の書や古寫經や或は一部の數寄者になると佛像まで床飾りに弄ばれて居る、新畫で山田敬中あたりが佛教趣味の可い作品を出してゐたのは數年前の事で、今は全く各派の展覽會などに其種の作品を見ることができなくなつたが、これはまことに遺憾の事である、佛教趣味の座敷は主人の信仰を表徵し敬虔の情感に富み靜寂幽幻の趣きがあつて頗る沈著た可い心地のものである。

○近頃の成金富豪がこの趣味の建築や裝飾や調度などに金をかけぬのであらうか、一幅の梁楷の山水に二十萬圓を擲つ程ならば立派に庭內に一字の佛教建築の堂宇が建つ、何故今の紳士連にこの種の趣味がないのであらうか、甚だ惜らぬ次第である、尤もこの春大阪の入札に二萬圓で四天王寺傳來聖德太子寫經扇面なんかと云ふのが取引されたが、經の文字より下の扇面の地模樣に住吉か土佐あたりの藤原朝の風俗畫が書いてあつたりして四天王寺傳來と云ふだけで歷史が逆に流れて王朝の畫の上に推古朝の寫經があると云つたやうなも困るが、確實なる佛教趣味の美術の振興は決して惡い傾向ではない、何うかこの成金時代の金の捨場に困つてゐる時分に、大佛像の建立、殿堂の大建築などが行はれると可いと思ふ、從來の日本の歷史は各時代に於て代表的の佛教美術及び建築を殘してゐる、大正の御代にも是非何か殘して戴きたいものである。

時間表

[illegible]

●東京株式取引所燬んに燃へつゝあり

火の手遂に帝國商業銀行に及ぶ　立會最中とて混雜は一通りで無い

▲第一報　十日朝日本橋區兜町の東京株式取引所より出火し只今熾に燃へつゝあり（午前九時五十分發東京至急特電）

▲第二報　兜町東京株式取引所にては十日午前立會を開始し一節稼近取組進みたる八時四十分頃庶務課三階建玄關二階より一條の紫煙立昇るよと見る間に忽ち火勢猛烈に燃え擴り折柄立會中の數百名の人々の混亂名狀す可からず各所消防の盡力に拘らず火は帝國商業銀行其他附近の商店にも飛燒し尚熾に燃へつゝあり（午前十時四十分發京城電）

▼東京株式取引所には　慥んな歷史が有る　現在の建物は約百萬圓で建築

東京株式取引所は明治十一年六月資本金僅かに二十萬圓を以て開業し最初は單に新、舊、秩祿三種の公債の取引のみであつたが、軈て東株、米商、會所株（今の東京米穀取引所）第一國立銀行株及び金祿、起業、兩公債の賣買をも開始するに至つて漸く我國に於ける株式取引なるものが行はれたが初めは

◆至つて微々　たるものでその年の十二月末に於ける諸式の總出來高總く纔れ二百五十三株とは嘘の樣な話である、が併し公債の取引は割合に繁昌したが、それとても七ケ月の總取引高二千六百五十六萬圓弱の小額であつた、是が

◆段々發達し　たのは十三年より十四年に掛けてゞあつて十四年上半期には手數料の收入が七萬三千圓に上つたのであつたが是を今日の收入に較ぶれば殆んど御話にならぬ事は世人の知る處であらう、處が額々拍子に弁う旨くは行かないで十九年秋には我が

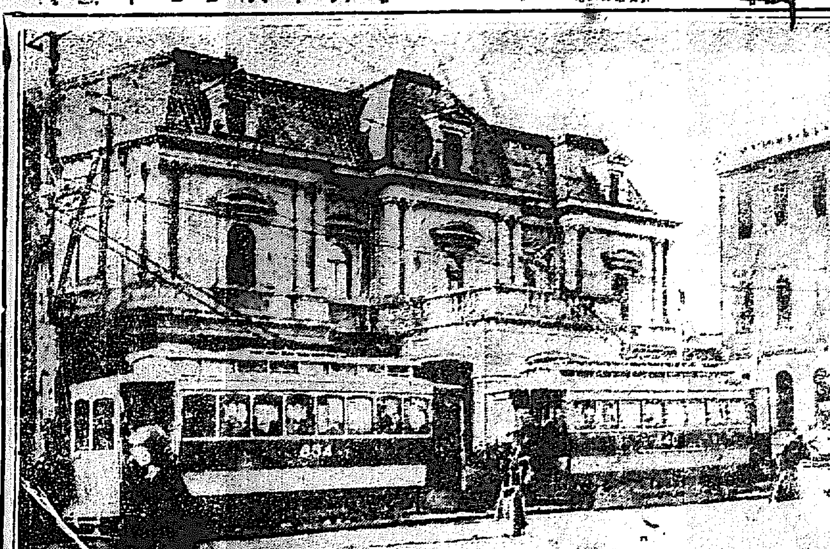
◆經濟史上に　有名なブールス問題が起つて同市場は忽ち恐慌の姿となり其れより明治二十年に至つて營業期限の滿了とあつて外の取引所は御構ひなしに營業の停廢を餘儀なくせられたが同二十一年井上馨相の時代に政府でも

◆定期取引の　眞價を認めて纔か木內重四郞氏抔が定期取引研究の爲め歐米へ差遣せられたのも此の時であつたらうと記臆する、而して一方東株取引所は滿限の延期を許されたので市場の關係者は漸つと一息吐いたが、二十四年になつても

◆埒が明かず　其の難關を辛ふじて切拔け二十五年十二月に至り、漸くの事で現行取引所法案が議會に提出され散々な目に遭つて翌二十六年三月公布の運びに至り今日の如き狀態を見るに至つたのである、故に之れが爲め廿六年上半期の出來高は百二十八萬六千八百餘株を算へるに至り資本金を增加して

◆三十萬圓と　なし次で二十九年日清戰役の結末を告げた翌年には又々資本金を倍加して六十萬圓となし三十年には百二十萬圓となし現在の家屋を新築し更に進んで日露戰役後の明治四十年には一千二百萬圓となし尚ほ大正の今日に至つては資本金二千萬圓の大株式會社となるに至り一日の賣買平均高十三萬餘株に達する

◆盛況を觀る　に至り之を創始の當時に比すれば眞に隔世の觀がある、現在の建物は約百萬圓で建築したものであるが之が新築には約倍額以上を要する事であらうと多年兜町に在つて斯界の重鎭と云はれた在京城某古老は記者に向つて物語つた、因みに現在の重役は左の諸氏である。（理事長）郷誠之助男（理事）[illegible]（常務理事）[illegible]小池國三氏



火災に罹れる東京株式取引所

▼出直し相場は何んな風か　天幕張りで假立會をする外は有るまい

東京株式取引所に十數年勤續して目下市內に株式店を營んでゐる某店主の談に曰く　東株の建物が燒けたのは前場の前かも立會最中の樣に思はれます、と云ふのは前寄の電報が入つて前日より東株、郵船抔が

▲六七圓安で　あると云つた最中に至急報で火事だと云ふ入電があつたのです、元來彼の建物は纔か四十年に新築して其後四十二年と大正元年との二回に建增をしたものですから何千坪といふ建坪になるでせう、それが建る時に費用を節約して、成程基礎工事こそコンクリートで固めてありますが、建物は

▲全部木造の　上に屋根は瓦を一枚並べにして其上にセメントを塗つて內部は可燃性のペンキ塗ですから火事と云ふが最期一溜りもなく燒けて了ふ事は決まり切つてゐます、併し室內の暖房裝置はスチームですから立會の場所や其他の所から發火することは無からうと思ひます、まア私の考へでは地下室のスチームを焚く所か又は湯香所の火を焚く所かの二箇所より無からうと思ひ升、物が御承知の通り附近にも

▲適當の場所　がなく唯一の國技館さへ彼の始末ですから天幕でも張つて假立會をするより外にはありません……出火と株の高下の關係ですか……何しろ寄附が安かつたのですから何とも云へませんが、元來彼の社會では『火事と云ふ事は相場が上がる』といふ迷信的の傳說がありますから或は今度の出直し相場は案外吹出る樣な事が無いとも限りません

◇春場所は

▽角力雜話のその二△　新東方よりは

新東方が優勢らしく見える　假に作り上げて見た豫想番附に記だした製表は到底協合の變更がない限り新番附所の優秀順位は稍る順序に着くであらうと思ふ、それは新西の勢力が殆んど相伯仲してゐるからである、それに新西方の三役及び新西方の西の海を除けば大錦以下幕尻の前頭まで打突け合へば火の出さうな若手揃ひばかりである

老朽力士として各々味方の足手纏ひであつた東西古參株は廢業したり幕下に落ちたりして

◆孰れを　見ても精悍の氣の溢れた油の乘りきつた連中がズラリと顏を並べた腕かさはそれでなくてさへ緊張し易い好角家の心もちを一層緊張させて餘りあると言ひたいくらゐだ、新東方の顏觸れを見ると大錦西の海栃木山の横綱大關を始め九州山兩國宮城山の關脇小結以下勇將猛卒が雲の如く居流れてゐる更に

◆新西方　はと見ると太刀山は二三日前大阪に行つて大阪の新聞記者に話してゐるところを見ると本場所には殆んど戰機が無いらしく或は例の神經痛を理由として休場するかも知れぬが鳳、栃潮、伊勢の濱等の星取屋が殿りとなつて敵の諸豪に當るべく更に薬ケ崎、問題の大潮、新關脇新小結たるべき大鳴門に千島、大戶平なぞが

◆中堅と　なつて敵の中堅の對馬洋、梅川改め達の矢、常の花、源氏山駒泉、逆鉾宇都宮などの中堅と相對し一歩も讓らざるべく更に前場所に於いて病氣又は不成績のため下位に持つて行かれる筈の浦の濱にしても玉手山にしても接近まで三役を往來した古つはもの共だ〳〵老い込む年ではないから奮起一番

◆舊位置　に接近する事に努力するであらうし新入幕の三杉磯、琴ケ浦共に新進氣鋭の精力を傾けてその基礎を固めるだらう殊に琴ケ浦に至つては相弟子の然かも同じく轡を駢べて入幕した千葉ケ崎に迫ひ越された面目上、今度果して入幕するとなれば石に嚙りついても二ツや三ツの星は穫きねばならないから

◆盛んに　奮鬪する事だらう、更に紅葉川、明石山、瀬川などの働き手がゐて活躍するは事は論を俟たね、然らなれば御大太刀山が當然收め得べき八九箇の星などは當にする必要がなくなつてくる、今度の場所では、新東方に對して新西方の方が內容が充ちてゐるやうな氣がする、記者一個の考へでは新東方の五頭亦は

◆若手の　元氣力士が休まない限り例の優勝旗は再び新西方の手に奪還する事が能きはすまいかと思はれる、これには各力士の得べき勝星の數を豫じめ察定しそれを合計して見るとその大體の結果を知ることが出來る、勿論勝負は時の運ではあるが簡單に東西優劣の大勢を斷ずるには此方法が比較的間違が尠い、然らば問題になりさうな主なる力士の得點數はどんな風になるだらうか

◎伊太利の危急を救けて　獨逸の勢力を制すべく　米國遂に墺洪國に宣戰を布告す

過般米國は人道主義の立場より協商國側に加擔しその敵國たる同盟國側とは

◆國交が斷絕　され既に獨逸に對しては宣戰を布告したしかし同じく同盟國側なる墺洪國に對しては未だ何等交戰關係を結ばなかつた先般ウイルソン大統領は墺洪國に對する宣戰案を米國議會に提出し大喝采を興へられたといふ電報があつたが今又ウイルソン大統領は右の宣戰布告に

◆署名したと　の電報が來た、抑々米墺政府の間に大衝突を見たるは昨年の十一月日墺太利潛水艇が何等豫告もなく商船アンコナ號を擊沈した事件である當時米政府は墺太利政府に抗議を求めしに墺太利政府に於て遺憾の意を表白すると共に

◆今後無豫告　で商船を擊沈せざる事、乘客をして安全の場所に避難されるだけの機會を供するといふ事を聲明したそれ以來墺太利の潛水艇が敢へて野蠻的擊沈行爲をしたといふ質證はなかつたそれ故に米墺兩國の間には

◆交戰關係を　結ぶに至らなかつた。併し今や米國政府はもつとも重大な且つ緊急な問題に面して全く墺國に對して宣戰せざるを得ない立場になつたそれは米國が伊太利を援けて

◆伊軍を大破　せしめたる事實である。この事實は獨逸の勢力を制して世界の平和を齎らさんとする米國に取つては一大打擊たるに相違ない、獨逸が一度伊太利を併呑し而してその蠻行を恣にせんか

◆忽ち戰勢は　獨墺同盟國側に制せらるゝ事は明かである、そこで米國は伊太利の形勢が危殆の急に迫つてゐる此時に際して積極的に活躍せねばならぬと思惟される

●第九艇隊　仁川に入港

海軍少佐中村熊三氏の率ふる第九艇隊は五日午後一時佐世保を發し六日午後天候不良の爲め鞍馬島に避泊せしが九日午後三時同地出發炭水糧食補充の爲め十日午後一時半仁川へ入港せり同艇隊は燕、鶴、若鷹、雁の四隻にして一兩日中に仁川出港小青島、海洋島を經て旅順へ廻航の豫定なり

●盛達丸坐洲　乘客其他に異狀無し

朝鮮郵船株式會社所屬釜山群陸島間の就航汽船盛達丸（二百五十噸）は九日午後三時半頃江原道平海に寄航し投錨の際折柄の激浪に襲はれて船體動搖し平海面四浬里の沿岸約三百米突の沖合にて坐洲したるより官憲は里民を指揮して救助に從事中の由船體には異狀なく乘客及び郵便物等全全救助すべき見込みなる旨江原道警務部より警務總監部に通報ありたり

●補助員猛猪と大格鬪

慶南密陽分遣所の憲兵補助員崔南鉉が十二月五日淳昌環陽面の山道を通行中突然一頭の猛猪現はれ補助員の脚腹に咬みつきたるより補助員は佩劍を拔き猪の脇腹に突き刺して格鬪中猪は逃走したるより附近の里民に應援を求めて遂に件の大猪を射止めたるが體量約四十貫の物なりしと

●火災は今が一番多い

京城本町警察署管內に大正六年一月から十月末迄の十箇月間に三十九度の火災があつた、其の損害額は三萬七千七百十十餘圓に達して居る、是れが發火原因に就て同署の調査に依れば最も多いのが溫突からの出火である、是は主に溫突の破れ目から漏火したものや焚き過ぎから起つてゐる、其の他飯からの延燒したもの、洋燈の破壞、提燈の失火、小兒の弄火、煙草の吸殼の放棄等もある、其の他にも火鉢の火、焚火、爐、燈火、暖爐等から一二回宛發火してゐる、而して例年を通じ火災は十一月から翌年三月迄の五箇月間が最も多い、是から寒氣が一層激しくなると共に一般火氣の取扱ひに注意することが肝要である

●爆藥を密造す　慶南密陽

北面龍池廠基述（三二）はクロームサンカリウム并汞硫黃を混合したる爆發藥を製造し山野に之れを散布し狐狸を捕へて毎市日に何十圓と云ふ金儲けをなしつゝありしことを去月二十九日憲兵隊の探知する處となり爆藥を押收し同人は引致取調べの上檢事局へ送らる

大阪株式特電

大阪期米

[illegible]

課題及び募集規定

□募集規程　▲用紙は端書又は同形の用紙一枚毎に紙上の雅號又は匿名の外に住所氏名明記の事▲[illegible]▲締切[illegible]

天氣　大

晴れ時々曇り

[illegible]

商況

貴券現物特電

公債直取引

深川正米特電

東京期米特電

大阪株式特電

大阪三品特電

大阪期米特電

下關期米特電

雜報

[illegible]

京城正米

●依然強硬の成行なり

[illegible]

●皮革類不勢　便強を示す一方　前途市況は鈍々

●ボックス皮　五錢方低落

●外品共に百斤五圓方引下

●八百六十圓　豚皮及馬皮

●皮革同步調

●洋紙類底固し

●更紙類

●ボール紙

●稻は下値ぶり　例年に比し四圓

●上物二十九圓　五圓高の見當

●十一圓

●白米ヂリ安

●二十錢方下落　二十三圓七十錢

●煉乳は區々

●三圓高

●賣止め同

南大門の穀類

[illegible]

仁川正米

●更に高人氣

[illegible]

釜山穀物（九日）

[illegible]

生魚市場

[illegible]

下關相場

[illegible]

仁川期米

▲十日前場（強硬）圓二十一錢、大阪二十三圓

天候晴天

[illegible]

▲第二節　大阪前寄七十四錢の間違

東京八十三錢　兵庫二十六錢

東京八十三錢　兵庫三十錢

[illegible]

市場雜觀

正米より上騰　仁川の跳返

[illegible]

●綿糸布持合ひ

僅に二十五錢安の持合ひ姿を示し

●綿布龍レー現物　九圓九十錢

[illegible]

●取引所燒失

[illegible]

●銑鐵手堅し

[illegible]

仁川米豆取引所

十日の二月限

[illegible]

仁川米豆取引所仲買人　今村覺次郎

叺繩莚　箕浦商店

滿洲通貨の種類(一)

統制なき種々雜然たる通貨

今回朝鮮銀行が滿洲に於ける正金支店發行の金券を併せたるは滿洲に於ける邦貨を統一し金建取引の一準備を爲したるものなるが猶滿洲に於ては各種の通貨雜然として流通し居るを以て今後之れを統一する上には少からざる時間と相當の準備とを要すべし古來支那には統一せる貨幣制度の施行せられたる事なく其の幣制の如きは紊亂を重ねたる儘に放任せる結果かの統制なき

▲種々の通貨雜然 として流通し今日俄かに整理し難き狀態に陷りたるは必然の勢にして滿洲に於ける通貨の狀況は之を南支那地方の其れに比すれば甚だ簡單なりと稱せらるゝも猶其の種類甚だ多くして其の系統の複雜なるは

▲想像に餘りある ものあり滿洲に於ける通貨は先づ之れを固有の通貨と外來の通貨とに大別し更に固有の通貨を制錢、銅貨、大洋錢、小洋錢、銀錠、官帖、洋錢票、帖子の八種とし外來の通貨は日本圓銀、日本補助貨幣、正金銀行銀券、日本銀行に朝鮮銀行金券及び今回朝鮮銀行にて引繼ぎたる正金銀行金券並びに近來全く其の價値を落したる露國ルーブル紙幣及び露國補助貨等にして此の內日本銀行券朝鮮銀行券日本補助貨幣露國紙幣及び同國補助貨等は何れも其の

▲本國若くは領土 に於ける現行の通貨なるも日本圓銀及び正金銀行銀券及び朝鮮銀行に引渡したる同行金券は滿洲及び支那地方に於て流通する爲め特に發行したるものなり滿洲固有の通貨は前に擧げたる如くなるが之れを硬貨及び紙幣に類別すれば硬貨に制錢、銅貨、小洋錢、大洋錢、銀錠あり紙幣には官帖、洋錢票、帖子の三種あり硬貨の內に銀錠は私人の鑄造する貨幣にして其他は皆な

▲政府の造幣に係る ものなりとす現今世界各國の採用せる貨幣本位は金本位、銀本位、金銀兩本位及び金爲替本位の內其の一を出でざるものなるが滿洲に於ける通過は事實に於て銅を本位とするものあり銀を本位とするものあり又金を本位とするものありて各本位を異にする通貨の相並びて行はるゝ如き稀有の現象を呈するに至れり滿洲に於ける

▲支那固有の通貨 の多種多樣なるは支那政府が最初より特に制度として採用したるものに非ずして多年內政の紊亂に伴ひ自然に發生したるものなり滿洲の通貨が金、銀、銅の並行本位なる事は前に記したる所なるが其の本位に由つて之れを區別すれば銅本位のものに制錢、銅貨、官帖あり銀本位のものに小洋錢、大洋錢、銀錠、洋錢票、帖子、日本圓銀、正金銀行銀券あり金本位の通貨には日本各金券、露國紙幣、日本補助貨、露國補助貨等あり此等の

▲金銀銅各本位 に屬する通貨は何等制度上の連絡なきのみならず同本位の通貨間に在りても其の固有通貨の如きは比價の定まれるものなく其の換算率は各貨の質、價格及び需要供給の關係に因り日々變動して定まる事なし之れ並行本位に伴ふ當然の結果なりとす、滿洲に於ける固有通貨が斯くの如く

▲實質價格にて 通用する結果として其の各貨幣の總ては之れを本位貨と稱するを得べく從つて實質以上の交換價格を有する補助貨なるものは滿洲に於て其存在を許さゞるなり滿洲固有の通貨が斯くの如く一定の統制を欠ぎ各貨質價格を以て流通し居るの外之れに混ずるに外國通貨を以てするが故に價格の單位一定せざるは論なく其の種類

▲少くとも十種 を下らず即ち銅本位の制錢、銅貨、官帖は吊を單位とし制錢は奉天省制錢は百六十個を以て一吊とし吉林省制錢は五百個を以て一吊とし銅貨は其の個數を以て通用し特定せる單位の稱を有せず官帖は吊以上とし銀錠の單位は兩と稱し各地其の內容を異にするも例せば營口の兩は品位九九二位の銀の營平一兩即ち銀五五二、〇六七八四グレインとし小洋錢及び同票、大洋錢は元を單位とし小洋錢及び同票は純銀重平一錢五分九厘四毛とし大洋錢は純銀庫平銀六錢四分八厘とす以上各種の通貨は各々其の

▲發行の沿革を 異にするを以て其の流通の範圍必しも等しからず滿洲の通貨を固有のもの外來のものとに二別し更に固有の通貨を制錢洋錢及び銀錠の三系統に分類するに制錢系には制錢、銅貨、官帖あり洋錢系に小洋錢、大洋錢、洋錢票帖子あり銀錠系に銀錠あり而して制錢は圓形有孔の銅錢にして之れを制錢と稱するは官の制定に係る錢の意にして明朝以來の名稱なりとす制錢の實質は銅なれど制度の

▲不備と監督の 不行屆とに由り其の造幣頗る區々に亘り其の量目及び品位の統一を欠ぐこと著しきも普通見る處の制錢は一個の量目我一匁前後にして其の品質は銅六七割を含むも往々銅鉛相半し或は鋅を加へ或は砂を混ずるものあり其の私鑄に成るものに至つては品位頗る劣惡にして其の量目我一分を出でざるものあり而して私鑄の制錢が官鑄のものと相混じて流通する事猶時朝鮮に於ける二錢五分の白銅貨と一般なり(大連)

◎滿蒙畜產業

多大の資金と困難を要す

滿蒙の一大利源たる畜產開發は最近漸く世人の注意を喚起して我農商務當局を初め都督府滿鐵等に於ても著々調査施設の步を進めんとするの機運に向へるが之には多大の資金と困難とを要す可しされば

▲大牧場經營難 滿洲が牧畜經營に好適なるは廣漠たる草原に富み夏期畜類の放牧を行ひ得るの一點にして漸く嚴冬來らば畜類を包容す可き一大設備を爲さゞる可からず之れが費用は到底牧場經營として償ひ得る處に非らず南米伯剌西爾アルゼンチンの如き溫帶地方に於ける牧業とは同日の談に非らざれば滿蒙牧畜經營は極めて困難と謂はざる可からず

▲家畜改良急務 右の如く一大資本を擁し滿蒙に於て大牧場を經營せんとするは收支償ふ所に非らざるも若し彼の山羊種類を改良し農家をして年々數頭宛畜產を增加せしむるの策を採らば滿蒙の產羊毛は品質の向上と共に數年の後には其產額も亦數倍する事を得べく斯くして漸次牛馬諸他の畜類に及ばゞ滿蒙畜產開發は著々發達の實を示すを得べし

▲病疫豫防獎勵 由來滿蒙畜類には數ば恐る可き病疫發生し蒙古旅行者は皆此等斃骨の累々たるに驚けりと之れが防疫豫防を奬勵するは亦最大の急務にして最も進步せる血精注射を應用せば容易に其目的を遂す可きが日支當局は此の畜產開發に就き適當の協定を遂ぐる事最も肝要なる可しと

◎滿洲の煙草界

ツラスト煙値上

滿洲に於ける東亞煙草、英米ツラスト二大會社煙は何れも絕大の勢力を有し或る信ず可き調査に據れば右二大煙目下の趨勢は下級煙にありては兩社伯仲の間にありて上等煙は東亞の勢力は未だ遙にツラスト煙に及ばず而して最近之れが大煙に顧頭し排外煙を目的とせる中佛煙公司は奉天城內某所に本據を置き近く沿線各地に大活動を開始せんとしつゝあり此等各會社は何れも皆時局以來の原料騰貴に苦心し英米ツラスト會社は遂に一昨日より下等煙約一割の値上を斷行したるが漸次高等煙も値上する模樣なり

◎鸚鵡杯(上)

△由緒深き古器物
△康永勾氏の所藏

過般開催した仁川公立普通學校の展覽會に際し康永勾氏は其の秘藏の珍品數點を特に參考品として出品せられた、其內でも

◆夏禹の眞筆と◆ 稱する所謂禹篆なるものは實に三千五百年の歲月を經過せる古今の珍品で即ち蒼頡皇帝が臺上の鳥跡を見て始めて篆字を造つてから凡そ萬年の後に夏禹が之を寫したと傳へてある書體恰かも龜甲に似て勿論何の意味なるやは分明しないが天の餘白に後世に到つて加へたものと云ふ解釋の文字が入れてある兎に角

◆觀賞眼の無い◆ 者には其の眞僞は判斷出來ないが傳ふる處にして眞なりとせば正に三千五百年を經たる天下の逸品があるに相違ない、此の外に李太白が一日よく三百杯を飲酒したと云ふ鸚鵡杯は國寶として時の皇帝玄宗から傳へて幾百年の後明國に所藏された、それが計らずも韓國に來つて遂ひには康永勾氏の手に渡つたのだと傳ふる其の由緒の

◆大袈裟なだけ◆ 容易に信せられないものであるが傳ふる處は之れ又整然たる系統がある、而して鸚鵡杯の因緣と李白と玄宗皇帝との物語りに到つては歷史の傳ふる以外、伽噺的の趣味多き一節があるが先づ如何にして此の貴重の珍品が康氏の手に歸したかに就て聞くと康氏は既に人の知る如く韓國時代に於ける衞瞻で絕えず

◆李太王殿下の◆ 御側に侍してゐた而して日韓併合の當時には其の功勞に依つて勳三等を授けられたのである、昔朝鮮人張世南と謂ふ者が明國に使ひした張氏は判書詩酒を善くする者で甚だ巧みであつた爲め明皇は其詩酒を善くするを愛されて此の貴重なる鸚鵡杯を張氏に賜はつた、張氏は之を

◆子孫に傳へた◆ が引南世の子孫は家に甚だ貧しかつたので遂ひに此の杯を他人に賣却した處が其人は之を朝鮮李太王に獻上したので韓宮に永く保存されて居たのが或る日太王は此の杯を衞瞻康永勾氏に賜はつたのであると(仁川)

◎大豆訴訟示談か

年內には片付かん

七百萬圓の訴訟として一時內外人より其の成行を注目せられつゝありたる大連大豆取引所受渡しに關する訴訟は其後賣方買方相對にて解合ひ目下の係爭高は三十萬を餘すのみに至りたるを以て多分年內に全部解合示談となるべき見込みなりと

◎黃燐々寸軟勢

內地輸入の黃燐々寸は目下支商筋の在荷豐富にして甚だ軟弱を氣構へ頃三十八九圓のものが現今三十三圓を唱ふるより內地製造元は何れも皆數割の製產減少を行ひつゝあり而して滿洲にては吉林燐寸等が盛んに製造を爲しつゝあるを以て滿洲在荷は愈々潤澤を來しつゝあるが更に奉天東亞燐寸會社も茲處數日後愈々製造開始の筈にて同社製產は差當り一日平均七噸なるを以て然る上は一層供給を潤澤ならしめ內地輸入は殆んど其跡を絕つに到る可し內地製燐寸は元來粗製濫造の傾きあるに引替へ今回東亞燐寸の製造方針は此等粗製品の大改革を圖るに在りて價格も內地品に比し幾分高價なるが今後は全然內地粗製品の滿洲輸入悉く防遏せらる可しと

◎年末の長春

最早十二月に入つて六日を過ごし年末も間近となりたる此の頃長春新市街の景氣如何を觀ふに小金融界は概して平穩にして該景況を探るの尺度とも云ふべき質屋の如きは入質頓に少なく出質のみ頻りにして利上げ薄く生命保險、ミシン掛金、公債月賦販賣等の集金も延引するもの稀に吳服商雜貨商料理店等の掛金も相當好良なる集金を爲し得又債務の入金鮮濟を果す者多く賴母子講の如きは本月に入るも敢て競ふて落札せんと急ぐ者なく初會講の落札高八割四分強と云ふ狀態なり從つて小賣商人は充分に春の賣出しに見込をつけ相當の前景氣を示し搗き餅の廣告ビラは菓子屋の店頭を賑はし呉服屋にては染め上りし春著を小僧が屆け廻り年賀郵便の注文取や門松の注文取りは此の寒氣もいとはず走り廻る等好景氣の春を迎ふるに忙はし(長春)

◎大同江の結氷

は二度目にする

六日から七日朝に涉つて降り續いた綿毛を散らした如き粉雪は一先ず歇んで又もや八日午後から天は曇つて夜を降した八日から九日未明に涉つての降雪は六寸に過ぎなかつた、前日に三寸餘り降つて居つた處へ續いて降つたのと八日の最夜中から風が加つた爲め意外の大雪に見ゆたのだつた是れで當分雪は降らない相だとは測候所での話だが今度の雪は平壤を中心として中部地方にのみ降つたので僻地方では纔かに僅か降つたのみだ降雪と共に氣溫も低下し八日の如きは最低零下十五度五分に下降した大同江も綾羅島東方の緩流な部分には薄氷を見たが今迄の例に據ると十二ノ位の寒さに三度位出會さなければ全部の結氷を見ないと云ふだ既に二回を過したから今度目に來る寒さ十五六日から弗々張りかけて來るのだらうと云ふ事だオー寒むいッ

大連より

○滿洲朝鮮の鐵道統一に伴ひ是非京城奉天間に電話をも接續せしめたいといふ希望が關東州の官民間に勃興した

○それで費用がどの位かゝるかと概算して見ると四百磅銅線二條を用ひて奉天安東縣間が十二萬八千三百圓安東縣京城間が二十三萬七千餘圓と成る

○此の問題は最初安東縣の官民が奉天へ電話直通を希望した事が元に成つて安東縣まで通ずるならば百尺竿頭一步を進めて太銅線を用ひて奉天京城間の接續を圖らうと云ふ事に成つたそうだ

○此の大規模の計畫には朝鮮側の方か聊か尻込みの體で一時問題はお流れに成つて居るが滿洲の電話計畫は心持快く雄大なものである

○民間の電話利用も朝鮮側などよりも遙かに頻繁で大連長春間の直通電話などは支那人が大得意で一ケ月に通話料の四五百圓位納める者はザラにあるそうだ

○滿洲電話の景氣が斯くの如く好調なる際に朝鮮側でも一奮發して滿洲電話の接續でも計畫したらどうだ

仁川期米

▲オ川後場 大阪變らざる入電にて當限二十圓二十錢

▲先限寄付 二十三圓十銭九錢 ▲中限 ...平均値段十四錢 ...

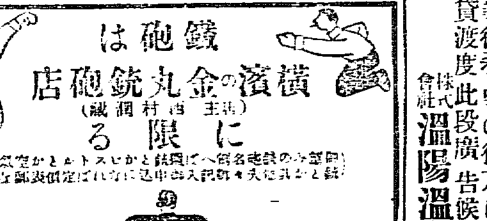
十日の二月限
寄付 十九圓九十五錢
高値 十九圓九十七錢
安値 十九圓九十八錢
引値 十九圓九十四錢

▲東北東 ▲北西の風强かるべし ▲警戒區域咸鏡北道咸鏡南道沿岸

●注意● 讀者文藝は歲末につき來る十五日にて休み明年一月十五日から改めて募集いたします

▲宛名は京城日報社 ●●●

溫陽溫泉 高等旅館向貸家
階上客間四 階下客間六 附屬部屋四
右先般來改築中の處今般落成致候に付旅館營業御希望の御方に至急貸渡度此段廣告候也
株式會社 溫陽溫泉


鐵砲は
横濱の金丸銃砲店に限る
(主店 西村洞)

釜山商店案內

米穀調製器 收穫用器具 販賣
釜山本町 朝鮮勸農商會
竹製消火器 南鮮發賣元 地方特約店募集

長岡商店
釜山辨天町長手通

洋酒罐詰卸商
釜山長手通 あづまや商店
振替京城三九番

商報發行 卸問屋 洋菓子洋酒 食料品
東京三河屋 滿鮮代理店
釜山幸町 ミトヤ商店 電話八三一番

內外雜貨 冬物全部揃荷
(御下命次第月利發呈)
近藤商店 釜山本町三丁目 電話長七六八番

雜貨卸問屋 (月刊商品案內送呈)
釜山大廳町 明治屋本店

◎朝鮮名物◎ 人參羊羹
京城本町 電話二七七五番 龜屋

日本及歐米十三ヶ國專賣特許
胃腸最新藥 ヂケスチン
●食慾が進まない時に食慾を促す ●元氣が衰へた折に活力を與ふ ●貧血のものには血液を補給す ●精力の增進と體の發育を促す
說明書發呈 藥種問屋 合資會社

ねつさまし カゼピリン 淺野製
懸賞 それでもできる
一、カゼピリンは何病によくきくか
二、風引に一番よくきく藥は何か
以上正解者に抽籤の上左の金品を呈いたします
一等 五圓貯蓄債券壹枚
二等 壹圓づゝ五名
三等 二十錢のカゼピリン壹個づゝ百名
解答はハガキに限る 宛名は京城旭町カゼピリン本舖淺野樂天堂 締切十二月二十日限各新聞社立會の上公平に抽籤の上、紙上にて通知す

忘年會新年宴會は 破天荒の大勉強仕候間多少共御用命御付被下度奉願上候
京城本町二丁目(元千代本)跡 梅の家 赤星きみ子 電話七三四 七三五番

大正式製麵機 東京本所長崎町一六 日本發明
賃麵用大割引 本機は事業として最も有利 種の製麵自在也 說明書進呈
粉麥讃バリカン式 枝切鋏 稻扱切製器 販賣元價表送呈す 其他金物

天下一品 白鶴
增本酒店 仁川本町三丁目 電話一〇九番

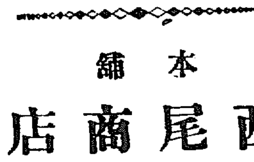
自分の病氣が自分で癒せる
生命原理應用 哲理治療法 簡易教授 教授料金五圓
右は本館簡易教授書「哲理治療精神統一法」及「健全の自由法」に就き自宅獨習の法に依るものにして該教授書は各二萬字許の小篇に理論の眞髓を約述したるもの何人も一讀して其秘訣を會得し自己の疾病を救ふ事が出來る諸藥効なき難病者に對しては絕好無二の伴侶である若し夫れ不明の點は質問に應じ幾回にても親切丁寧に通信して必ず會得せしむ希望者は料金を添へ直接又は郵便にて至急左記へ申込むべし
該書頒布は(來る廿日限り)
京城南大門通一丁目 渡邊旅館內 朝鮮分館長 健全哲學館大學 江藤旭洲

拜啓寒冷の折柄四方御華客樣には益々多祥に被爲涉奉賀候偖て當店事豫て御贔負の御客樣の御勸めに從ひ元彌生跡に開業仕候間精々御引立の程伏して奉待候
京城南米倉町 元彌生跡 春本 電話九〇九番

勸業債券 新債券第六十七回輕便賣出し
只今壹圓六十錢の金で拾圓の勸業債券が買へて 割增金
名古屋市中區新柳町四丁目八 日本勸業銀行債券取扱 勸業債券販賣所 電話三三一〇、三三二〇

防寒靴賣出し
實際脫のがイヤに成る程暖くて いゝ恰好で 値の安い防寒靴が出來ました
羅紗製 一號 一圓八十錢 二號 二圓五十錢
ズック製 一號 一圓六十錢 二號 一圓八十錢 三號 二圓三十錢
京城本町二 靴スリッパ製造所 日東商會 電話二二一〇番 振替京城二一九番

小學兒童齒牙健康診斷無料 (毎日五名限り)
岡本齒科醫院 京城本町一丁目
夜間診療 晝間多忙家之爲 (奇數日十時迄)


龜の子たわし
歲暮年玉の御進物最適品
本舖 西尾商店 東京本鄉眞砂町

靴製造販賣
皮より強い値の安い 專賣品柳製鞄
日ノ丸國旗附屬品 毛布二枚續き 三圓五十錢以上上物色々
防水布マント各種 魔法瓶及中瓶取替
京城本町一丁目 高木旅行用具店 電話一三四番

外科 花柳病 內科 小兒科 婦人科
京城南山町二丁目 宮崎醫院 電話三〇六八番

左甚五郎

第百九席

桃川如燕口演
浪上義三郎速記

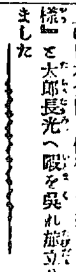
太郎長光は千壽院の前へ手を支て 長『私の願ひと申しますのは、刀を鍛へる秘傳を教へて頂きたい、當時大和國の千壽院と云へば出家でこそあれ刀を鍛つては天下の一人と承はります、何うぞ貴下の弟子になすつて下さいまし』と云はれて千壽院和尚頭を掻き 千『イヤ天下の一人なぞと云はれては甚だ恐縮をする、愚の真似ごと位ゐはするが、然かし一と通りは心得て居る、又お前は何處の者で名は何と云はれるか 長『私は備前長船の三郎右衛門長吉の倅で太郎長光と申します 千『何に、長吉の倅とな、お前の父の長吉こそ天下無双の名人である 千『其の長吉が前年禁裏御料の劔を鍛損じて長船へ蟄逼いたし、今世の際の遺言に汝は千壽院の弟子となり、一生懸命修行致し一口の劔を鍛つて朝廷へ納め我汚名を雪げよとの事でございます、何うぞ今日より劔を鍛つ事を教へて下さい 千『長吉は御劔を鍛損じたのを揃く恥入れど左のみ恥辱といふでは無い、誰しも爲損じはあるもの、然し其方父の志を繼いで汚名を雪がうといふのは感心な心懸け、然らいふことであれば俺が教へて遣りませう』玆で師弟となつて千壽院和尚太郎長光へ劔を鍛へることを教へまする、

刀を鍛つには水加減と申しますが全くは泥加減といふので、粘つた泥の中へ焼いた刀を突込んで加減を見るから泥を粘るのが肝腎であります、太郎長光に毎晩々々泥を粘せる、是が修行と見ゑます、此の泥が能く粘れる様になると刀鍛冶も一人前だといふことでありますから、泥を粘るのも六ケ敷ものと見ゑます、修行中は別にお話しもございません、太郎長光二十二歳の折まで一心に修行して居りましたが、流石の名人と見ゑまして前となりました、此の時に畏れ多くも一天萬乘の君御稲平遊の爲め御料の御劔を鍛つて参らせんとある故、廣橋殿より奏上いたし改めて仙洞御所より千壽院へ御沙汰となつて一口の劔を鍛つて差上げる様にといふ宣命が下つた、乃で千壽院は長光に對ひ 千『サア長光、お前が父の恥を雪ぎ名前を揚げるは玆である、御料の御劔を鍛上げて献納いたせ、お前が先槌となつて俺が長槌を取つて鍛つたこそなら定めし美事なものが出來るであらう』と兩人が齋戒沐浴をして劔を鍛ちましたが、何がサテ名人の開ねを取た千壽院と太郎長光の槌で鍛上たる劔であるから直に納まるものが出來ました、研をかけ白鞘に納めて仙洞御所へ持参いたし納める時に千壽院が 千『此の劔は私の門人太郎長光と申す者の作でございます、總てのこと年老つては叶ひませんから太郎は未だ血氣の若者故却々千壽院の及ぶ處でございません、宜しく御披露を願ひ奉つる』と申上げたのは弟子と云へば子も同様、何うか長光の名を揚げてやりたいと思ひ且は父長吉の恥辱を雪がせたいと斯く申したのでございます、スルと案外にも其の劔は納りませんで千壽院の許へお返しになつたのみならず無位無官の者が鍛上げた劔を納めんとする千壽しこそ不埒至極と嚴しく御咎めがあつて、千壽院はさん〴〵な目に逢ひました、太郎長光は氣の毒に思つて心配をすると 千『決して心配には及ばん、俺が見てさへ能く出來たさ思ふ位だから良い劔には違ひないそれが納らんと云ふのは未だお前の名が他人に知れんのである此の上は日本全國を修行して來なさる様』と太郎長光へ暇を呉れ旅立せました

牛乳

御用 京城東四軒町 岡野牧場 電話一〇六九番

お歳暮 お菓子がよかろ 木村屋カステラ箱づめに (京城明治町 電話一八七〇)



十二月十二日 九星 舊十月廿八日 戊子 本命七赤 西除 先勝

▲七赤 [illegible] ▲八白 [illegible] ▲九紫 [illegible] ▲一白 [illegible] ▲二黑 [illegible] ▲三碧 [illegible] ▲四綠 [illegible] ▲五黄 [illegible] ▲六白 [illegible]

演藝案內

黃金館 電話 一三六六 三七

天然色活動寫眞株式會社京城舊山一手直代 提供

◎十二月七日より新らしく [illegible]

新派大悲劇『五大力』(全三巻)

連續『赤い目』 第一十二篇 [illegible]

[illegible]

寫眞 寫眞出張撮影 寫眞銅版 亞鉛版 京城日報社 寫眞製版部

◎月やく 月やくさまり月經不順の爲め何となく工合惡く心配の方 [illegible] 東京市四谷信濃町 森田屋

有樂館 [illegible] 新派悲劇『火』 全百二十場 [illegible] 新乳姉妹 全百五十場 [illegible]

浪花館 明治町二丁目 電話二六〇番 十二月十一日限り 素人淨瑠璃大會 主催 彌生會 [illegible]

大好評 舊劇 熊王丸 人間改造大怪事件 奇々怪々連續寫眞 第一回 赤い目 全二十二卷內四卷 新派悲劇 新五大力 黃金館

大正館 櫻井町 電話八七三 十二月七日より差替への大寫眞 神秘の一滴 全三巻 [illegible]

稻荷座 本町五丁目 博多笑劇松葉屋組一座 十二月十一日より ▲一番 妙な親分 二場 ▲二番 教育劇 當り 三場 ▲三番 餘興 文人手踊 一場 ▲四番 義侠の藝者 三場 [illegible] 入場料 [illegible]

榮養ヲ增進シ 精力ヲ旺盛ニス

グリコナール錠

本品ハ醫學博士佐伯矩先生ガ創製セル榮養劑ニシテ五〇%ノグリコゲーント蛋白脂肪鹽類等分ノ適量ヲ含有ス

一般虛弱、心臟腎臟衰弱、胃腸病、結核其他慢性病者榮養原並養料ノ充足ヲ要スルモノニ對シ榮養ヲ增進シ精力ヲ增加ス

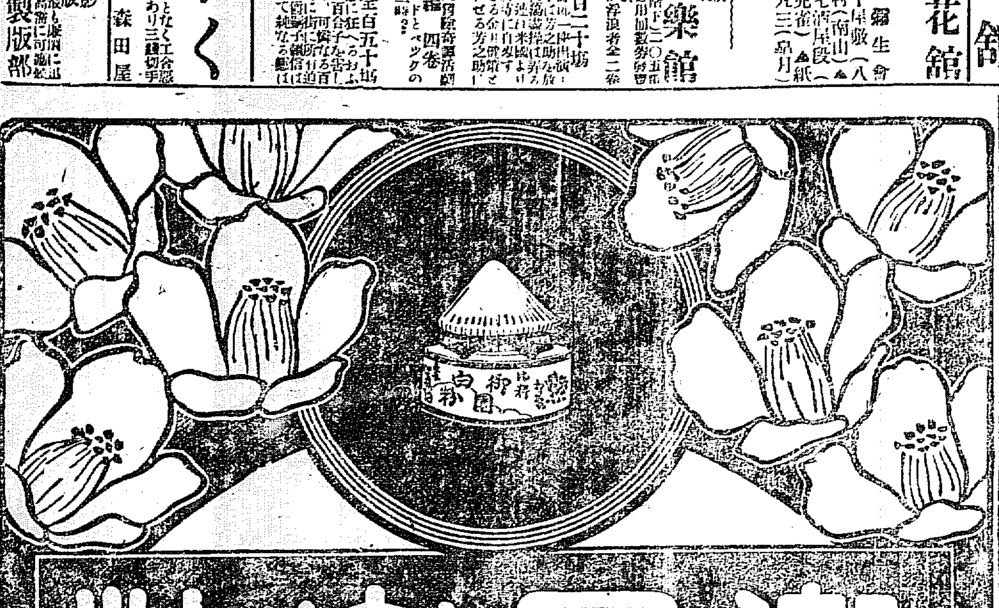
百錠金壹圓ニ各藥店ニ有リ說明書呈ス

東京室町 三共株式會社

京城櫻井町一丁目(大正館隣り) 滿田齒科醫院

開院 入院隨意 京城 久枝肛門病專門病院 痔疾專門
◎いぼぢ ◎だつこう ◎じろう ◎はりぢ ◎きれぢ ◎かゆぢ ◎ねけぢ ◎こうもん結核、梅毒、痳毒 ◎こうもんきようさく ◎痔疾神經衰弱
京城明治町二丁目三十二番地 元朝鮮實業會社跡(電話二二〇二番)
院長 久枝秀喜

內科 胃腸病 診察夜九時迄
昨秋來京城長谷川町安東病院に於て痔疾患者之診療に從事本年四月以來 [illegible] 患者各位の懇望に依り再び左記之處に於て診療に從事可仕候
京城本町一丁目 石川醫院 電話一二七九番



御園白粉

御園白粉は何故恁んなに評判が好いでしょう……か

一、高貴の御料の白粉……御園白粉は普通の白粉と違て今から十數年前畏くも高貴の御料として調進の榮を蒙り、始て謹製したもので、出來たものが御料となつたのでなく、始から御料として謹製し今日迄引續き此光榮に浴して居る名譽の白粉です。

二、純無鉛製の白粉……今から十數年前に於て今日優良と稱せられて居る白粉よりも凡べての點に於て立ち優れる眞正の無鉛白粉の發明を大成し、當時鉛毒に惱んで居る幾多の人々を救つたと云ふ事は、御園白粉の有する偉大なる誇りで御座います。

三、製造方法の進歩……御園白粉は、他の白粉には到底用ゐられぬ貴重な原料を用ゐ最新の科學に基いて永年の尊い經驗を積んで日に月に改善を加へて居りますので、其製造方法は、普通の白粉に比べて見ますると、常に數歩づゝ進んで居ります。

四、ノリとノビが良い……白粉の分子が粗い時は白粉のノリとノビが惡く、粧けても白粉が斑になつたりして、決して美くしい御化粧は出來ません、御園白粉の分子は非常に微細かいのでノリとノビのよい事申分なく、誰方にも容易く美くしく着きます。

五、高尚な御化粧榮え……御園白粉は誰方の皮膚にも至つて容易く思ひの儘に美くしく着き、其の御化粧榮えは毫しも態とらしくなく、異から艶々とした極く美くしくて高尚な御化粧の出來ます點に於ても、到底普通の白粉の比ひでは御座いません。

六、色白く美しくす……御園白粉を平素缺かさずお愛用ひ遊ばすと、色を白く美くしくする御園白粉の特殊の作用が皮膚に及ぼしますので、お粧けになります度毎に異から皮膚の色を白く美くしくし、肌理を細かく滑らかにする特色が御座います。

以上は御園白粉の特殊の點で、一度御園白粉をお試しになれば、誰方樣にも直ぐ御氣の付く美點です。

御料御園白粉本舖 伊東胡蝶園
御料御園白粉發賣元 丸見屋商店
(335)

髪は手入 髪の良き人には愈良く惡き人は一時で怨む漆の黑さとする 植物性美毛劑加味 ホーカー美髪液 [illegible] 東京 ホーカー液本舗 [illegible] 振替東京一五六八

御進物用 森永の菓子

森永ミルクキヤラメル 御進物用 大小二種

森永ゼリビンズ 御進物用 大小二種

スポンジメキスト 御進物用 一圓より五圓まで

京城日報　第五版　十一日朝刊（朝夕刊併せて八頁）

支那漫遊

揚州一日記

蘇峰生

上海より蓉より、長江筋の見物も、[illegible]隨分念を入れたり。[illegible]南京、[illegible]諸處を遊覽し、[illegible]日を發し、上海に十一月十一日の夜着せり。中間の一週日は、予に取りて、最も愉快の漫遊たりし也。但だ光[illegible]、恰も活動寫眞を見るが如く、人をして應接に遑あらさらしめたる[illegible]て、浮遊と云はんよりは、[illegible]遊と云ふの適切なるを知るのみ。

十一月十日、特に小蒸汽を雇ひ、揚州に向ふ。揚州の江南佳麗の地たるは、杜樊川の『十年一覺揚州夢』の句を誦せざるも、所謂る腰に十萬貫の錢を纏ひ、鶴に騎りて揚州に下るの俗諺あるを以て、知る可し。唐人句あり曰く『人生唯合揚州死、禪智山光好墓田』と。今日にありても、金持の隱居所は、實に揚州也。予が前遊の際、杭州にて、西湖の勝を欲飽したる、徳渕太助君、今や民國鹽務官として揚州に在り。是れ予が道を枉げて斯遊を敢てしたる所以也。

此日朝來天陰り、風寒し、小蒸汽は瓜州を經て、淮南の運河に入る。瓜州は即ち王荊公が『京口瓜州一水間』の句の通り也。運河は隋煬帝によりて開鑿せられ、明に至りて完成し、天津に通ず。實に支那南北聯絡の一大動脈也。予は曾て[illegible]を通過して、何となく蘇士運河を想起せり。若し利澤を後世の民人に及したる點を擧げば、煬帝の功、豈に禹の下に在らん哉。

予前日金山寺の高塔より、揚州を望み詩あり曰く

六朝金粉水悠悠。南北風雲今更愁。獨立金山寺塔望。淡烟一抹是揚州。

河を上る者、下る者、挽舟する者、帆を揚ぐる者、江蘆を滿載する者、苦力や、豚を乘する者、野菜、穀物類を積む者、而して欒を搖かし、帆綱を手にする者、婦女亦た少からず。小蒸汽は遠慮なく此の中を押し分け、文峰塔の下を廻りて、揚州に入り。予等の上陸して、高洲君の[illegible]

先づ史可法の祠堂に赴き、其の墓を弔し、其の附近の梅花嶺に、高洲君が日本より移植したる櫻、楓の成長し、楓葉の半ば已に紅なるを賞し、天寧寺を過ぎ、扁舟に乘りて、平山堂に向へり。[illegible]北京[illegible]の昆明湖[illegible]は、此地の風景を摸したるものと云ふ。或は然らん。一水溶々、滄波を揚げ、兩岸の老柳は時に翠竹を交へ、時に緑樹[illegible]を錯へ、或は村に連り、或は園に接し、或は寺あり、或は塔あり、水中偶ま小嶼のあるあり。處々[illegible]するあり。而して隨處の蘆草は萎々として、宅も其色を變せざる也。舟は幾回となく門鏡を過ぎ、而して橋上或は樓閣あり、亭子あるを見る。乾隆南巡の際には、揚州美人を徴發し、錦纜を結び、御舟を挽かしめたりと云ふ。蓋し想ふ可し。其の五歩に一樓、十歩に一閣、何んぞ唯だ煬帝のみを咎めん哉。

長堤春柳晩霽[illegible]。秋老淮南[illegible]。[illegible]。扁舟已過五亭橋。

五亭橋とは橋上に五亭あるを以て名づく。乾隆時代の遺物ならむ。池蓋小窮まる所を九曲池とす。池蓋る所を蜀岡となす。平山堂は、岡上陵、萬松の中にあり。歐陽修、蘇東坡等清遊の蹟也。其の平山堂と稱するは、江南の山を、平遠に望むが為にして、歐陽修の命名に係る。寺を法淨寺と云ふ。歐陽修[illegible]

平山堂に遊ぶ

[illegible]

[illegible]の肖像を安置す。

予は寺僧に請うて、庭前の斑竹を伐り、携へ還れり。而して午後六時、高洲君に歸着したる時は、[illegible]

[illegible]已に十一時を過ぎたり。

揚州の遊、僅かに一日、而して其の纜路を得たるもの、偏へに高洲君の厚意に依る。是れ予の最も感謝する所也。

大正六年十一月十二日午前九時半上海藤村男爵邸に於て

京日鮮滿便覧

大正七年一月元旦京城日報附錄

◇京日鮮滿便覧は四六倍版百餘頁の製本美麗高尚なる小冊子にて世間普通の案内書等の如き比に非ず

◇材料正確細大を漏さず一見鮮滿の縮圖たるが上に多數の鮮明なる寫眞版を挿入し錦上更に花を添ゆ

◇鮮滿の事情を知らんと欲する人鮮滿旅行をなさんと欲する人には特に一時も放つべからざる必要書

月極讀者に限り無代進呈す本紙十二萬部の印刷配布をなすが故に其廣告の有効なる事は本社の保證する處也購讀希望者廣告依賴者は速に申込べし

京城日報編輯局地方部調査編纂

朝鮮古墳の變遷（九）

八木奘三郎

（一）外部の遺物

古墳外部の遺物には支那に石人石獸以下の類有り、朝鮮には石の外に腰石なるもの有り、之に十二宵脇を彫刻せしは未だ他に其例あるを聞かざる所にして頗る珍とするに足れり、而して日本には石人石馬及び十二宵脇の類例は一二あれども、[illegible]埴輪土偶以下を樹てしことなり、此外祭器を墓側に埋めたる類あれ共其研究上に價値あり、又興味あるは一に[illegible]化が多く日鮮に波及せしは固より當然にして怪むに足らざるなり然れども文化事物等の移動は時代と民族と土地柄と技術と經濟との關係上多少變化を生ず可きものにて墳墓系統の迹も自から此勢力に制せられし現象を表示せり、去れども一度其實情を知て之を觀察せば宛も快刀を以て亂麻を斷つが如く之を理解分別すること容易なると同時に其興味も油然として増加し來る可し、蓋し古墳の内部を探ることは法令の禁ずる所有り、又他人の墾財ありて容易く行ふ可からずと雖も、外部の觀察は自由にして、又其間に考證の餘地あり、故に世人は此點より古墳を一覽することも亦一興ならんか。幷始く措とするも、墳墓の外部を装る風習は如何にして起りしか、又何時頃に創まつて如何に變遷し[illegible]

詩壇

旅中偶[illegible]　大石松逕

[illegible]

どうして

布施生譯

（十）

[illegible]許曰曲折遙狀、見細心巧筆[illegible]

國柄は更に一足進んで此肖像と今しがた迄自分の眼前に立つてゐたあの冷やかな主人の顔とを比べ合せ二人の間に何か似寄つた點でもあるかと調べかけた、途端に國柄は其扁額が餘りに壁から張出しすぎてゐるのに氣がついて額縁が拙いものだから折角の名畫をこんな風に臺なしにすると口惜しがつた、熟々見ると成程肖像の婦人の目と主人の目との間には何だか似寄の處がある、尤も婦人の眼の方が遥に情に烈しいやうに思はれた、それだけ見て取ると國柄はもう滿足して畫の方は思切り今度は何かもう少し外の事を調べてやらうと[illegible]

[illegible]『いゝえ從姉の方で御在います』谷女は國柄に構はず部屋を出ながらさんと强く戸を閉切つて仕舞つた、大分御機嫌を損ねたらしいので國柄はもう手の出しやうが無い其うちに阪探偵が庭から上つてきて[illegible]た態度で心安く谷女を對手に話を始めた、國柄は漸くほつと息をついた。

『[illegible]承りますと貴女は大變な娘さんを捜出すのに御熱心なやうですね、何だか懸賞までして下さるさうで』阪の言葉に谷女は丁寧に頭を下げながら『左様でございます、實はほんの僅少ではございますが少々銀行に預けた金がございますのでそれを差上げる心算に致して居ります、もつと澤山差上げたいのでございますが何分持合せがございませんので』いわれ』言ひさして谷女はぱつと顔を赤らめ何だか妙にそわ〳〵しながら『もし御搜索の費用にお入用だといふ事でございましたら幾許でも構ひません、お入用だけは拵らへるあてのないではございませんが、いゝえ、お入用でございましたら御遠慮なく仰有つて下さいまし、兎に角是非ともお捜出しをお願ひ致したいのでございます』

○雜誌抄

◆倫敦◆（新婦人）

倫敦では此の頃各所に次の如き食物戒を張り出した

（一）上手に買物せよ（二）上手に料理せよ（三）上手に食せよ（四）何物も無駄に消費せざれ

『上手に買物せよ』とは無くてならぬものを少し控へ目に買ひイクラ安くても今現に必要でないものを買ふのは愚です『上手に料理せよ』とは、大切な食物の材料を粗末にせざること『上手に食せよ』とはよく咀嚼して身體に必要な丈け食し、決して貪食するなと云ふこと『何物も無駄に消費せざれ』とは讀んで字の通りな譯である

瓦斯エンヂン 電動機 安價賣却

一英國ナショナル會社製 瓦斯エンヂン 五馬力より十馬力迄數臺

一米國ゼ子ラル會社製 單相交流電動機（二二〇ウォルト）六〇サイクル 半馬力より五馬力迄數臺

ヘルモント、アマゾン、パッキング[illegible]

右の品賣却す

京城南大門通 安達商會 電話 一九一七・九五

最新刊 年末年始の贈答に最適

[illegible]

大阪屋號

防寒靴 製造販賣

特に 毛皮なめし

京城黄金町三丁目 大阪屋

耐火煉瓦

△蠟石煉瓦（三十番より三十四番）

△レヤモット煉瓦（三十番より三十四番）

△ダイナス煉瓦 △マグネシヤ煉瓦

△耐火モルター其他 耐火物各種

平壤府橋口町（電話第五五番）

合資會社 京谷商店

改訂增補

日本家庭百科事彙

全二冊索引附

東京帝國大學文科大學教授 文學博士 芳賀矢一
東京女子高等師範學校教授 文學士 下田次郎 兩先生編纂

幸福の源泉！知識の大海洋!!

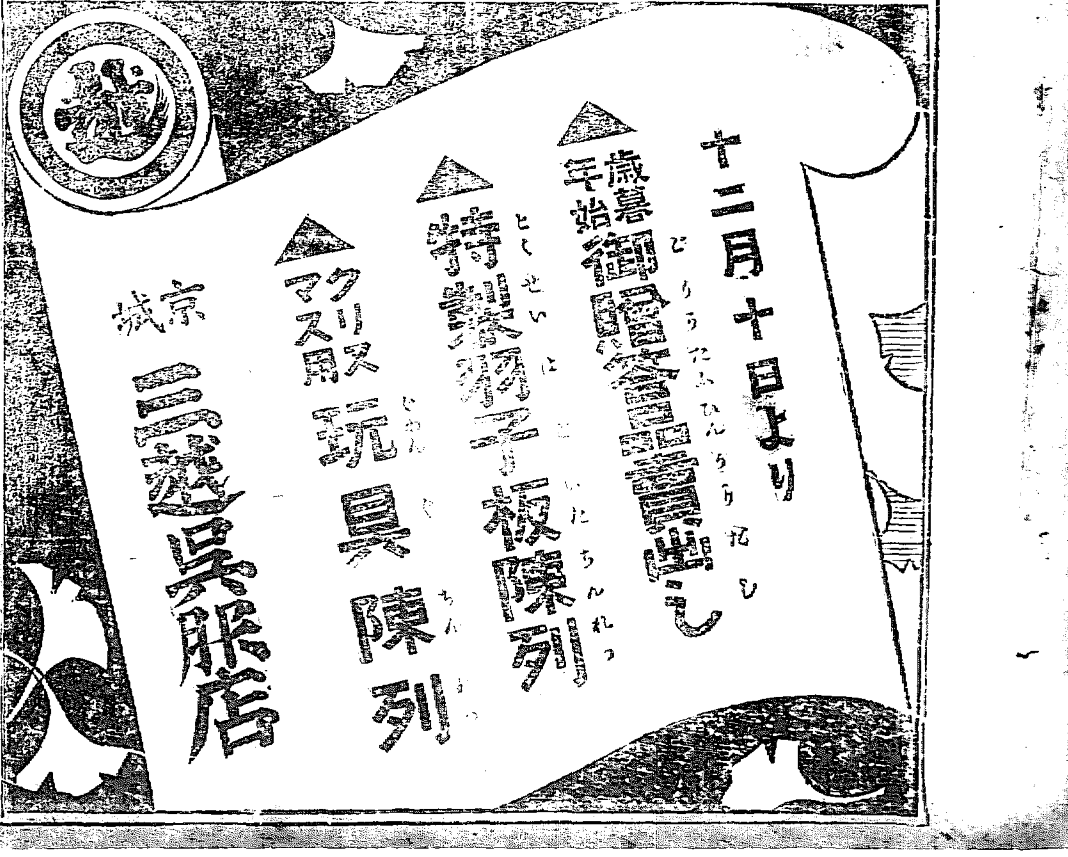
無聲博識の良友各家庭に薦む

大本 菊判美裝 二千七百餘頁 抽畫 五千部限特價金拾円 月賦拂特價金拾貳圓

忠實な賢明な良友として本書ほど博識で、一年三百六十五日主人から主婦、令息、令孃ら御隱居を始め義務教育を終へたほどの者ならば誰にでも時に應じ事にふれて利用し得るものはない。二六時中活動する家庭教師であり社交顧問であり業務秘書である。慰安と教育と娛樂とを兼有しては我が國家庭の品位をして一段高きによらしめるものは本書である。本書が我が國に於ける模範的百科辭典として全國十七萬の家庭に愛用されて居るのは天下周知の事實で特に改訂增補大正版（二冊）は愈々完全の域に達し好評々々喧傳し需要旺盛を極めて一時品切の止むなきに至つた。仍て今回新刷五千部を提供し熱烈なる江湖の待望に應じようとする。各階級を通じて教養ある家庭に於て何物を節しても第一に購入せらるべきは本書日本家庭百科事彙である

內容見本進呈（往復葉書申込次第）

東京神田 富山房 振替 五〇一



◎東清沿線の主權を渡す 駐支露公使よりホ長官へ

支那政府及び駐支露國公使より哈爾賓東清鐵道長官ホルワット將軍に對し電報を發せるが露國公使の電報要旨左の如し(北京特電)

假令脅迫せられたるにもせよ又好意上にもせよ其の何れの形式に依るにもせよ東清鐵道沿線の主權並に東清鐵道の行使權を勞兵會の手に渡すは千九百九年の支那及び列國の條約の精神に背くものたる事を記憶せざる可からず當地領事團も同樣の抗議を貴下官に爲せり支那に於ける露國の權護を以て任じつゝある余は貴下の任に在る地點に於ける露國の權利を思ひ露西亞が此の際支那との條約に抵觸するが如き行動は甚だ不可なり延いては吾人をして滿洲より撤退するの已むなきに至らしめ前後十數年に亘り露國民が築き上げし巨萬の富も權利も永遠の犧牲に葬られんのみ貴下の事情を各公共機關各政黨に向て懇ろに說き明せ

駐支露國公使 ケルジェラフ

◎ニコライエフスク附近暴動說

ハバロフスク電、クラスノヤルスク、トムスク、オムスク諸地方は過激派の政治の下にあれどイルクツク以東哈爾賓等はケレンスキー政府時代の秩序保たれつゝありニコライエフスク附近にて暴動起れりとの報傳へられたるを以て日本領事は同地行政委員長に對し萬一の際の邦人保護の保障を得たりハバロフスクにては糧食缺乏し物情恟々たるを以て日本領事は間接に種々斡旋中なり(哈爾賓電報)

◎露外國公債廢棄 對聯合國負債の公債廢棄か

露都來電は十二月六日附の法令を以て外國公債を廢棄し利子支拂を中止する旨發表されたり此の法令に依れば露國の聯合國側に對する約百億留の公債は廢棄せらるゝ譯なり(倫敦電報)

◎在支露外交官獨立

在支那露國公使及び領事は過激派政府より獨立し所要の經費は東清鐵道の收入を以て之に充つ可しと(北京電報)

◎ヒ線回復大攻擊

我軍(英)は西部戰線に於てブーロンヌの森を何等の損害を蒙る事無く撤退したるが敵の二十五個師團を下らざる步兵は更に突破せられたるヒンデンブルグ線一部回復の大攻擊を加へ海嘯の如く猛襲し來りたるも我軍は尙其の戰線を支持し且ラバケリーに於て獨軍を俯瞰し得る砲兵陣地を支持し居れり(倫敦電報)

◎獨逸食糧分配と陸軍

獨逸は露國の食糧及び其他の供給品を國內に分配するの任務を行はしめんが爲め昨年陸軍の組織編成を準備中なり尙獨逸は殊に露國の脂肪類を手に入れん事を希望し居れり(海外電報)

◎獨墺兩國民滿足

露國よりの休戰申込に對する獨逸及び墺匈國政府の回答內容は是等兩國民輿論に多大の好感と滿足とを表せしめたり(ベルン電報)

◎敵與國分裂の姿

米國下院外交委員長フラッド氏は委員會にて言明して曰く今や獨逸及土耳古並に勃牙利國との關係は殆んど分裂の狀態に陷れりと(香港電報)

◎上院も宣戰可決

米國上院は滿場一致を以て對墺宣戰布告決議案を可決せり下院に於ける同案反對者は紐育選出議員一名のみにて同議員立ちて演說せんとするや議員は一齊に退場せり(華盛頓電報)

◎永江氏葬儀

前代議士永江純一氏は昨年來宿痾の心臟病を病み郷里福岡に歸省し爾來加養中なりしが其の後心臟病を併發し遂に九日午前四時逝去せり因に葬儀は十二日午後三時福岡縣三池郡江浦村にて執行す可しと(東京電話)

◎化學工業不振

化學工業界は甚だ不振を極め斯種の工業は何れも今期の配當減を豫想し[illegible]不況なり

◎旅順警備艦交代

旅順要港警備の任に當りたる[illegible]は佐世保に引揚げ第十二驅逐隊は交代して警備に就く事となれり(東京特電)

◎元山守備隊引揚

元山守備隊は十六日咸興に引揚ぐべし(元山特電)

◎德富監督歸東

本社監督德富猪一郎氏は支那漫遊を終り九日午後八時半東京に歸著せり(東京特電)

◎露國益險惡 今後注目の要あり (倫敦)

而かも是等非レーニン派が何等對抗策に出づる能はずして次第にレーニン派の爲めに征服せられ最近遂に大本營をまでレーニン派の手に委せざる可からざるに至りしが如きは主として彼等が據つて以て對抗するに足る中心勢力の確立せざるが爲めにしてレーニンの蹶起せる當時迅速に別政府の樹立せられたらんには或は案外容易に過激派の勢力を壓倒し得たらんも大勢今日に及びては確乎たる中心勢力を盛立てゝ形勢を挽回すること蓋し至難なる可し現にミリユコフ等立憲民主黨は云ふに及ばず哥薩克隊長カレデン將軍の如きも全然雌伏して手の出し樣なき情勢に在りと云ふ即ち穩健派若くは非レーニン派に對する壓迫手段の巧妙を極め殊に最近大本營を奪取したる手際の如き誠に鮮かにして裡面に獨逸の使嗾の潛めること爭ふ可からず

▲聯合國對策 露國が戰爭圈外に去りて中立の立場に返るとは大革命を遂げんとしつゝある露國として或は幾分同情すべき節なきに非ざる可きもレーニン政府は伯林政府との間に無線電信を通じ露都に獨逸の參謀を延けるが如きは明かに中立の立場を越えて敵國に通じ聯合國に敵對せんとするの措置なりとも解す可く聯合國としては萬一に備ふる丈けの用意と決心とを要せんとき爲す向あり但だ露都駐在の聯合國大公使團はレーニン政府を承認せざるものなれば公式に抗議若くば警告を發す可き干係を發見する能はず已むなく聯合武官團より露軍司令官ドゥホーニン將軍に對し獨逸との休戰の不都合たる所以を申込みたる次第なるも既に今日にとりては其れすら徒勞に歸せるものなり大本營陷落後のレーニン派は休戰談判及び聯合國に對する態度に一步を進むるなる可く最近英國の執りたる措置に憤慨して國境封鎖、外人退去禁止を布告せるが如き論々其の旗色を鮮明にしつゝあるものとも解す可く露國の今後は更に注目の要あり(東京)

◎物資運輸と鐵道院

鐵道院竹島課長談

九日午前[illegible]竹島慶太郎氏談 歐洲戰爭以來內地商工業の勃興は世人周知の事實なるが其れにつれ各地よりの物資運輸途々旺盛を極め鐵道院にても出來得る丈け貨車の運轉を計り其の結果本年七月十日より從來各驛に於ける荷物積卸の六時間なりしを各四時間に短縮し又各驛に於ける發著期間の十時間を八時間に制限し其外從來の貨車貸切容積の七噸積を以て取扱ひ來りしを重量噸八噸積に非ざれば貸與せざる事と爲す等種々の方法を以て之れが運輸の改善を謀りつゝあり而して又一方本院にては各工場を通じて新造貨車二千五百臺を(十一月末迄に)增加せしむる豫定にて若し同月末迄に期間を早め竣工せし者には一臺に付三百圓の賞與を以て製造を督勵し又機關車の如きも數百臺製造中なり而して目下內地全線の停滯貨物は六十餘萬噸にて內急送を要するもの四十萬噸內外に過ぎず殘部の二十萬噸は石炭、材木、豆粕、礦石其他の如き一時に運搬を要せざるものなるが要するに斯くの如くにして本院は出來得る丈け運輸の圓滑を圖りつゝあり(釜山)

◎在鮮敵國人 總數四十七人 現狀

朝鮮全道に於ける敵國人の在留數は目下二十七戶四十七名にして其大部分は京城及び仁川に居住し地方には唯元山に一戶江原道金化郡遠北面に銀鉛鑛山を經營せるウヰルヘルム、ヅェンチー在るのみなり仁川居住者は[illegible]

▲京城在留者 は二十七名全家族一戶にして其他は總て京城東大門外聖芬道教會に係る者にあり以上の四十四名中一名の墺國人を除く外は悉く獨逸人なり[illegible]

▲本町傳習所 を設け[illegible]學生を教育し居たが本國より送金の途絕し生活費を得ることも困難となりし[illegible]木工を本業とし椅子、卓子、机の如き各種の製品を産出しつゝあるが其の製品は頗る巧妙なるものにして賣行き又相當良好なれば維持して行く[illegible]

◎汕頭危險に瀕す

潮州陷落したる爲め廣東軍は汕頭を距る六哩の地點に迫りたるが尙ほ潮陽の廣東軍も亦刻々汕頭に進展しつゝあり、汕頭は不日兵火の巷たる可く外人の生命財産の安全期し難きを以て帝國は第三等驅逐艦一隻を汕頭に急派し警備の任に當らしめたりと(廣東特電)

◎武力解決實現か

八日山東督軍張懷芝氏は北京より濟南に歸任し直ちに軍事會議を開き動員令を發せりと傳へらる一方津浦鐵道は昨今或方面へ特別輸送を開始し普通客を謝絕せり之武力解決の實現と傳へらる(濟南特電)

◎張作霖討南準備

奉天督軍張作霖氏は南方出征軍を編成せり(奉天電報)

◎冬期休暇と割引

滿鐵京城[illegible]冬期休暇を利用して歸省若しくは旅行する學校職員生徒に對し汽車賃割引を發賣する由なるが[illegible]

◎京畿道苗木下附

京畿道にては植林獎勵の目的を以て本年度苗木を下附する由なるが希望者は大正四年京畿道令第三號造林用苗木下附規程に依り來る三十一日迄に府郡廳に願書を提出すべし而して下附種苗はアカマツ、クヌギ、クリ、マンセアカシヤ、テッセンモミ、テッセンマツ等也

◎恩賜製絲場決算

京城恩賜授産製絲場は今回開場以來三箇年間の損益計算を發表せり即ち之れに依りて見るに大正三年度は[illegible]

▲彼等の資產

に付き調査[illegible]

◎給費遞信傳習生募集

遞信局にては通信乙種傳習生約四十名を募集すべく其要領左の如し

一、養成期間約七箇月[illegible]

◎李道長官出府

全北道長官李軫鎬氏は八日附を以て出府を命ぜられたるが出程は十日より向ふ一週間の豫定なりと

◎商品陳列館觀覽者

[illegible]

人事消息

[illegible]

百種百面

[illegible]

◎哈爾賓の政權

哈爾賓の混亂に付きては報道區々[illegible]に於て握りしも秩序紊亂したる爲め遂に東清鐵道長官の手に復歸し[illegible]心として行使するに非ざれば國際上[illegible]的には種々の問題を惹起すべきを[illegible]其後ホルワット將軍に會見し[illegible]

◎常陸丸と保險 英國裁判所に出訴

[illegible]の責任は七十萬圓なるも大部分は外國へ再保險に出し居れり(文積)[illegible]

▲船體には戰時保險は附[illegible]

◎編修總裁 大隈侯爵 執筆者 當代之碩學大家五百參拾名◎

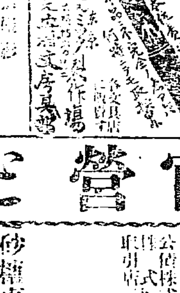
日本百科大辭典第九卷豫約募集

本卷定價 金拾五圓 特價 金拾貳圓

東京市小石川區高田老松町

三浦天龍堂 時計貴金屬指輪眼鏡商 京城本町二丁目 京城銀行前

寫眞 京城



萬年筆

砂糖官營と南洋の寶庫

南洋製糖株提供 細野傳次郎商店 東京市日本橋區坂本町二番地

賣出要項 一、賣出價格 一株金十五圓 一、申込方法 一、申込所 東京市日本橋區坂本町二番地

年末の御進物には 福々豆とのりかきを 京城本町 大和軒 電話西八九番

朝鮮行政法要論 法學士 永野清先生著 定價一圓 京城日報代理部

營業項目 日本勸業信託株式會社

…勞兵會長レーニンより哈爾賓勞兵會長リッチン氏に對し同勞兵會に於て哈爾賓の全權を掌握すべし（警察權の如き一時勞兵會に…）…將軍を訪ひ協議する所あり其際…は余は此命を受けしも然もホルワット將軍を排斥するの道なし即ち哈爾賓の全權は依然東清鐵道を…全權を行使したき希望なりとの意を述べしに將軍は何れ考慮の上返答すべしとの挨拶を爲したり而して領事團においても從來の行掛…きては考慮の上返答すべく何れ六日リッチン氏と再會見の筈なりと説明したりと（哈爾賓）

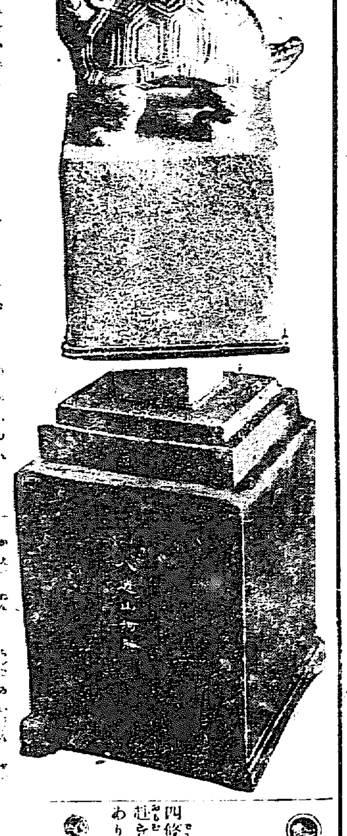
◎四條男行衛不明となる
狩獵に行つて

四條隆英男は富士の裾野に狩獵に赴き行衛不明となり捜索中との報あり（大阪特電）

◎征虎軍
獲物を陳べて觀覽に供す

山本唯三郎氏の征虎軍は十日午前十一時東京驛着、獲物を驛前廣場にて一般の縱覽に供せるが近日帝國ホテルにて之等の獲物の試食會を開く可しと（東京特電）

金色燦として目を奪ふ記念品
寺内伯爵へ―十三道民間有志より



前總督寺内伯爵が在任中の勳績に對し謝恩の意味を以て十三道民間有志一千五百八十二人醵金して記念品を贈呈す可く豫て李王職美術品製作所に託し製作中なりし處這回全く成り同十一日を以て寺内首相に宛て發送の筈なり同記念品は朝鮮産純金製に『八道河靜』の五字を下部に篆刻し頭部には蒼龜の頭を擧げて天上を仰ぎ見る處を印刻し大さ一寸四分五厘中方重量六百十八匁七分六厘價格三千五百圓形象は支那古代式にして製作方法は高麗式に則り紫檀箱入りの金色燦爛として目を奪ふ極めて精巧のものなりと（寫眞は其の篆印（實物大）と紫檀の箱）

◎漏電から大事に及ぶ
東京株式取引所火災詳報

火の手猛烈を極む＝危險なりし立會場＝三時間の後鎭火＝類燒家屋なし＝損害額十五六萬圓の見込

十日午前九時十五分日本橋區兜町東京株式取引所商館重役室の廊下のスイッチより漏電發火し火は忽ち電線を傳ひて燃え上り僅か數分時にして屋根裏一面の火となり計算、出納、事務室全部を燒き拂ひ
◆十時二十分更らに立會場に隣接せる新館へ燃え移り遂に之をも全燒し一時は立會場へも延燒せん形勢なりしも消防隊が水管を新館との間に入れ必死に防火に盡力して辛くも之を喰止め　午後十二時二十分に至りて鎭火せり附近には火の粉の雨を降らし危險至極なりしも一戸も類燒せざりしは不幸中の幸なり
◆損害は保險契約四十五萬圓中立會場を殘したる爲め二十五萬圓内外の保險金を受領し得可き見込にて地下室に蓄へたる古帳簿有價證券が蒸汽喞筒の水の爲め宛然全部水中に沒したる如くなりたれば此の損害を合し取引所としては總計十五六萬圓の損害に過ぎざる可し

▽立會開始は十三日から　因に午後二時重役會議の結果十日より三日間臨時休場の上十三日より立會開始の事に決定したり（東京特電）

▲燒跡視察　農商務省吏派遣　東京株式取引所燒失の爲め貴重品、預品等の燒棄を憂慮し農商務省にては十日午後十二時半見舞旁々實地視察の爲め屬官を出張せしめたり

▽再建築協議　夕刊所報の如く燒失せる東京株式取引所にては十日午後二時半より重役會議を開き善後策並に再建築に就き協議せり（東京特電）

▽後場立會　尚同取引所は山一商店に事務所を移し即日後場立會を開始せり（東京特電）

◎實業界にも推重された人
故永江前代議士

九日逝去した前代議士永江純一氏は嘉永六年二月筑後三池郡に生を享け明治十七年家督を相續した、氏は實に青年時代から公事に盡し代議士たる事前後四回遂に政友會幹事長として中央政界に名聲を走せるに至つた、氏の發見は好村長に三池郡治の爲に努力し漸次地方政界に於て擡頭するに至り福岡縣會議員に擧げられた氏は常に野田大塊翁と相提攜し野田、永江と並稱されて政界に名稱を馳せた氏は世の所謂專門政治家と歸趣を異にし力を實業の方面に用ひ三池銀行、三池紡績會社、鐘淵紡績會社等の重役たり其周到の注意と高潔な人格は實業界にも推重されて居た、政友會の幹事長として總選擧に際し激務に鞅掌して過勞の結果二豎の犯す所となり久しく故山に歸臥して病を養ひたるが遂に起たざるは實に惜しむべし

◎金剛山盜伐事件
控訴審の裁判

金剛山の盜伐事件として三井の金剛山鑛業所主任として雇はれ居たりし理學士村田折(三七)庶務主任佐伯迅二郎(四六)會計主任山脇六郎(三七)外十餘名に係る森林令違反事件は十月十三日咸興地方法院元山支廳に於て各被告は懲役一年以下同三箇月迄の判決を受しを不服とし林田以下十二名は京城覆審法院に控訴申立を爲せり其結果十二月十日午前十一時塚原裁判長外二判事陪席寺田檢事立會ひ安住辯護士の辯護にて之れが公判開廷されたり先づ裁判長より事實の審問あり檢事は一審の判決通りを求刑し辯護人は極力辯護の後何れも執行猶豫の恩典あらんことを述べて閉廷せり判決言渡は來る二十四日の筈なり因みに各被告は目下何れも保釋中なるが一審の判決刑期は左の如し

村田折(三七)佐伯迅二郎(四六)金藤佐輔(三七)以上一年▲山脇六郎(三七)川上辰次郎(五〇)以上八箇月▲森山正之進(三六)七箇月▲長田今次郎(三〇)津田早次(三九)以上六箇月▲瀨戸口淺吉(四四)山根福藏(三三)以上四箇月▲藤井守一(三六)淵邊三範(七)以上三箇月

◎猛虎と搏鬪す

咸北會寧居住の井上眷松、小田一雄、沼田某の三名は十一月二十八日古豐山中にて一頭の猛虎を發見して見事に射止めたるに引續き二頭の大虎現はれ内一頭は逆襲し來りたるに生憎にも銃器一挺は破損し他には裝彈なかりし爲め持合はせたる刃物を以て猛虎と格鬪中虎は遂に逃走し一行は無事なるを得たりと

◎佛領事宅燒失

神戸の佛國領事宅は九日火災に罹りて燒失せり（神戸特電）

◎二十七棟全燒

九日夜島根縣簸川郡久村に火災あり二十七棟燒失せり（島根特電）

◎寄宿舍より出火

宮崎中學校寄宿舍より十日出火し三棟燒失せり（宮崎特電）

◎船舶被害夥し
仁川港内の怒濤

九日朝來の南風午後に到りて次第に猛烈となり怒濤激烈折柄港内客棧橋に繫留中の土木局所屬鐵製大形七運船(五十噸)二隻の鐵網切斷し漂浪し來り港内棧橋に在る帆船實作丸(二九噸)外に衝突し船首其他に大なる破損を受け其他沈沒或は破損せるもの十隻にして其損害船體約三十四隻其他積荷石炭及び原鹽損害約二千八百圓に達せり

◎名刺屋は素晴らしい景氣
▽印刷お斷りの貼札を出した店もある

年の瀨戸が近づくと怎麼職業でも猫の手までも借りたい程に忙しくなつて來るが今此の名刺屋の繁昌さに至つては素晴しいものである、殊に本年は一般に金融が潤澤なのと商工界の景氣が好い結果名刺や年賀狀の注文は昨年に比較すると非常に多くて一閒間口の小店から堂々たる印刷工場までが晝夜兼行で天手古舞中には數日前から『年内入用の名刺ハガキ類印刷は御斷り申候』なんて言ふ赤圓點つきのビラを貼り出してゐるのもある一體名刺とか贈答品などは注文の早い晩いよりは其の時の景氣の善惡に依て[illegible]する事が出來るが本年は[illegible]十一月初旬から地方よりの注文が續々とあるので[illegible]日頃には市内華客先の注文を斷つて[illegible]閉口してゐるのもある程で名刺屋の[illegible]もある程で名刺屋の店頭から[illegible]世間の景氣は[illegible]た世間の[illegible]事のない程の大景氣である[illegible]例年は二十五六日頃から徹夜で作業したのだが十日前から徹夜で[illegible]なつて了[illegible]紙の[illegible]屋印の[illegible]對東京番紙[illegible]賤貴してゐるが一般[illegible]に運れて値上げする事も出來ず[illegible]受は工賃を安くして百枚[illegible]内外の値上げ[illegible]文が多いの[illegible]るから結局[illegible]と多からう、相場は使用紙一箱[illegible]十五錢から上等三圓五十錢位まで[illegible]で一般に上出では五六十錢安いのが[illegible]は三四十錢の處が流行り[illegible]して從來の如く角丸や金縁は全く廢つて普通のが歡迎され婦人用の名刺としては昨年から桐の板やコロタイプの瀟洒なものが流行し出した

◎列車脫線

十日午後六時四十五分京義線定州驛發平壤行列車脫線し復舊迄には約三時間を要する見込なり（定州特電）

◇力士連の野球團

[illegible]擧げて挑戰[illegible]力士の品位を云ふ[illegible]ぽつ／＼雅ねて、丁髷に浴衣姿で『オーライ』『サンクユー』と大に學者が増したものだ口中にも御大が御大だけに、出羽の門下にはそんな文明的な角力は不便だからといふ、少壯力士連が學生時代に覺えた野球を行らうと云ふ罪のない道樂から親方に貰つた小遣ひ錢を醵めて、ボールを買ふやら、マスクを求めるやら國技館の標章櫻花に力士の頭字『W』を染抜いた制服まで凝つたもの

口大錦組の一行を率ゐた入間川親方が嚴格なだけ『網持ちや、道れ／＼』と巡業先々戰ひを挑むと云ふ次第、一行は鎭西倶樂部と稱して投手は熊本の鎭西中學に居た鎭西山、捕手は盛岡中學の花坂、遊撃は常綠、一壘高の山、二壘遠藤山、三壘常陸嶽、右翼青木洋、左翼阿里山と云ふ臺北中學から飛び出た男中學は綾若で、加之に審判官まで揃つたもの、して一行の和歌の浦まで揃つたものだ

口この六月の巡遊先々、取組だ五回でみな[illegible]の時間なので大抵四回だが、盛岡中學には十八對三で敗れたが、平倶樂部とは三對二、磐城中學には五對四、福島師範に五對三、下野中學では九對零で大勝し二日には盛岡倶樂部と十九對零の大捷した

口何にしても發誤はなく、闘ふ節は強い、當りさへすればホームランピッチャーやスリーベースは苦もなく凝飛ばすのであるから臭いサインを補ひて餘りありだ

『ドロップ』得意の投手鎭西山は[illegible]の投撃を作つた『六十餘州名[illegible]』東京力士の野球團、寄來の勇氣、萬夫不當の勇氣を肩に持つ、日本の國技を肩に持つ、野球撰手の力士連、うち來る敵を鏖らすには、驚天動地の技倆あり『天下の神童と仰がれる、野球撰手の勇ましさ、雲間に消ゆくホームラン、センタオーバア、フェンス、ヤヒット』打ち占め打ち勝つ我撰手、連戰連勝の相撲撰手、櫻旗堂々凱旋々々萬々歲、勝つてくれ／＼、勝た方がいゝは力士式に出來てる、追つて本場所には東京の中學チームを追捲くると威張つて居た（東京）

◎元山降雪一尺

元山は八日來降雪あり十日に至り深さ一尺に達せり（元山特電）

◎金時計を萬引

京畿道安城郡孔道面龍頭里李申突(四七)は先頭京城本町一丁目平井時計店にて金側懐中時計一個(百三十五圓)を萬引し更に[illegible]の古物商趙完奎に六十四圓で賣却して纏路署に捕はる

◎主家荒しの曲者

京城府旭町某入狀館アングーラン方に[illegible]

◎陸軍官舍の賊

住所不定の權鍾顯(三〇)は十一月二十九日龍山漢江通り陸軍官舍石川一等軍醫の宅に忍び込み時計及び衣類等十五點(九十餘圓)の物を竊取し京城にて入質せんとする所を本町署の手に捕はる

◎感ずべき富豪

京城府廳は漢陽郡東幕里との境界を流るゝ河の下流は從來木橋を假設し行通しつゝありしも該街路は車馬の往來比較的頻繁にして降雨等の際は不便勘からざるより東幕里の富豪にして篤志家なる高允默氏は私費一萬餘圓と多大の勞力を供し永久的堅牢なる煉瓦造りコンクリート橋架設を思立ち昨年來より京城府監督の下に工事中なりしが本月十二日頃竣工の豫定なりと

お正月のお仕度は出來ましたか

▲正月の儀式作法と其の料理を知らぬは主婦の恥

正月は日出度い[illegible]家庭の一家の[illegible]主婦の[illegible]料[illegible]▲西洋料理▲和洋菓子科▲支那料理科▲禮儀作法

▲板前伯仲たる大主婦の家庭料理講習録

正月の儀式

門松▲注連飾▲飾等の飾り方▲鏡餅▲雜煮▲屠蘇▲齒固▲若水▲屠蘇▲賀船▲七草▲鏡餅開等の[illegible]正月の儀式作法[illegible]

◎正月三ヶ日料理

三ヶ日は正月中極めて重要なる日なり。[illegible]

◎雜煮餅の調理法

◎洲濱蓬萊盛り

◎正月重詰料理

◎會席料理

◎餅腹に適する料理

◎珍らしい鮨

◎他に類無き特長

◎新學期開始

◎入會手續

◎大特典有り

◎米價半減の寶典

◎内容見本無代進呈

東京市本郷區元町
東京割烹講習會
振替口座東京一九四一〇番　電話下谷五六九

▲製本は既に出來し居れば
▲一刻も早く入會せられ度し

自動車運轉手
自動車學校
東京府荏原郡品川町

緊急廣告
歲末に際し例により法文非常に輻輳仕り日以後に至れば自然十日期日遅延可致哉も難計御急ぎの向は此の際至急御下命仰付被下度此段謹告仕候也
京城日報社寫眞製版部

骨つぎ治療
明治町ふらんす教會前
荒川仁壽堂　電二五九五番

京日案内
普通五十字一回前金一番外 壹圓(五十字一回每に增し)
▲市内及中途揭載中止の節は料金不返戾▲六回以上の節は特に割引のこと▲御申込は必ず數字にあらざれば回答せず▲御報告は必ず番號御記入なさいませ

普通
古本新舊買受御報參上　明治町通　野村書店　電話三〇五〇番 100

番外
讓店　本町目抜の場所にて格安至急讓たし御望の方は◉南米屋菓子店 ……
三州旅館　倉町 ……
恩給年金立替　五年迄利一〇 ……
貸家　京城本町二丁目三四番地 ……
年金恩給　最長期間利極安 ……
風船ゴム寶月　正月用寶出 ……
印刷工募集　名刺印刷經驗ある者 …… 152
社員入用　中田普成社 …… 153
社員招聘　…… 154
店員入用　京城永樂町 徳田商會

櫻御殿

第九十二回　大阪　霞の家主人

雙生男子（五）

助左衛門は種々に手術して、筆の在所を聞き出さうとしたが、知れなかつた、廣敷番に聞いたら、知れるであらうと思つたのも空頼みで、少の索線も得られなかつた

『旦那樣、何うしたものでございませう、何處の口も塞いで居ります』

入助は泣き出したさうな面をして云つた、何させても、三人前の活動をする入助が、匙を投げて云ふのは、よく／＼望みの無いのが知ることが出來る

『困つたのう』

助左衛門は蓬々と鬚が生ひ伸びて、さながら大病人の如くなつて燭近く坐をしめて居る

『今日で五日目になります、五日の間骨を折つて、何の效もないと申すのは、よく／＼神佛に見放されたものと見ねます』

入助は縁下に蹲つて、主の面を見上げながら云ふ、彼は二十五歲の壯士であつた、眉にも、眼にも忠義の光りが現はれる

『何時まで斯うしては居られまい、初瀬の在所知れぬに定まらば、清之丞宅へ押しかけて、刺し違へ死なうと覺悟して居る、どうぢや、お身の目に見込みはないか』

『只今の處では、少しも見込みが立ちませぬ』

『困つたのう』

『これはわたしの邪推かも分りませぬが、お廣敷番の衆中、清之丞殿に命けられ、口に蓋をして居るやうに思はれます』

『偖うかも知れない、彼奴何處までも執念深く行き屆いて居るからのう』

此の時、玄關の方で

『丹下樣お越しでございます』と披露する聲がした

丹下作右衛門はお袋の父で、五百石取りの武士、六十近い身に三尺ほどの長刀を横たへて、音氣質の骨格を見せる、助左衛門はそれと聞くと、入助に眼配する、入助はお／＼と引き退る、それと鍋合せに、作右衛門はのそ／＼と入つて來た

『これは早や急の御入來、お出迎ひも仕らず、失禮は御用捨下され』

助左衛門は手を支いて云ふ、その面を立つたまゝで見て

『助左、病氣か』

『ちと風邪の氣がござりまして』

『熱があるか』

『ちとござります』

『熱氣には鐵も熔ける、お主は僞に優れた硬い骨を持つて居た筈ぢやが、もし熱の爲めに熔けはせぬかと思つて、わざ／＼見届けに罷り越した、念の爲めに見せて呉れやれ、お主の胸の硬い骨をよ』

左手に持つて居る朱鞘の長刀、今にも鞘走らうとする樣であつた

『さ、何うござりませうかな』

助左衛門は力ないまで云つた、作右衛門はその前に控手と坐つて

『どれ／＼見せへ、お主まだ耳を持つて居るか』

助左衛門は苦笑ひをした

『有りはするが、何か塞つて居るのでないか、塞つて居ては聞こねぬ、掃除をせへ／＼』と作右衛門は苦々しさうに云ふ

『何を仰せか、手前には一向に分りかねます』

『むやに由つて、耳が塞いで居ませぬかと尋ねるのぢや、この老人できへ、世間の噂は殘さず聞く、それにお主、まだ若い身空をして家中の者が聞こえぬか、いやさ、一家中の壯士、お主のことを惡ざまに云ひ觸らすのが聞こわぬか、返答次第で考へねばならぬことがある、聰をすゑて應答さつせへ』と火のつくように云ひ募る

石炭各種　京城太平通二丁目　西崎商會　電話七二七番

日紘歌壇

□阪境より　本間　泰月

○ゆ見れば山また山の[illegible]
たつくろなし（鴨緑江岸に立ちて）

○旅にして吾が病み臥しのひれもすら高多[illegible]く音のきこゆなりけり

○何がなし心のこりのあるごとく明日は知られぬ我身なれども

○都なる銀のやすきをおもひつゝ靈の小川に口なすゝげり

○すくなみ木のもさこちに立ちよりてはかなき旅を今日もつゞくる

懸賞募集のいろ／＼（一）

新刊雜誌も種類が殖ねると共に智識階級向のみのもの、外足までの趣味ある讀物綿羅一點張りでは讀者が承知しなくなつた、そこで近頃は何の雜誌にも懸賞募集が大流行を極めて來た傾向がある、是等は文藝の奬勵上面白い思付きとも云はれるであらう現に中央文壇で一流の名聲ある某々大家の如き初めは何等の系閥なき爲め懸賞小說に應募して初めて世間に認められ出した樣な例もある茲に近著の新年號各雜誌又は其他の新刊物にある懸賞募集を拾つて逐次紹介して見ようと思ふ。

◆文章日記

▼日記文　一三五七九十一月の各月、毎月十五日乃至末日締切（用紙は日記中に挿入しおります）一等三圓以下（右東京牛込矢來町三新潮社）

◆中央佛敎

▼小說（題自由）一行二十四字詰三百行以內賞一等五圓以下

▼文章（題自由）小品文一行十八字詰二十行以內、論文、批評文二十四字詰百行以內、感想、書翰、隨筆、敍事文一行二十四字乃至二十字詰八十行又は五十行以內（賞一等一圓以下）

▼詩歌俳句　新體詩は一人一篇、詩は一人五題、歌句は同數宛ゐ（賞）一等一圓以下（以上東京日本橋區蠣殼町二の一四中央佛敎社）

◆講談倶樂部

▼俳句（題　秦の雲、枯の花　鳥の巢（入花一句三錢句數無制限）一賞一等百圓以下六等及び秀逸まで（略す）

▼川柳（題）戰爭、家、苑蘭（入花一句二錢無制限）（賞）一等五十圓、正金以下五等及び秀逸迄に佳作まで（略す）

▼新作落語（四百字以内）（賞　優等五十圓半より秀逸（略す）

▼傳說（五百字內）（賞　同上以下略）

▼各種街附（賞　同上以下略）

▼外　一頁物、三幅對、文字探し等物以上東京本郷區駒込阪下町四大日本雄辯會講談社

◆活讀寫眞雜誌

▼俳句（題）年末、入花一句二錢　賞一等[illegible]十圓以下四等まで

▼川柳（題）妻、入花料一句二錢（賞同上）一月十五日〆切、東京赤坂、ツ木活動寫眞雜誌社

◉大正式製なわ機の好況　東京本所長崎町日本縄叺機械合資會社の同機は地方農民會よりの申込に忙殺されつゝあり之れ甚大なる作業力有り今回限り割引販賣する由

新刊紹介

▲皇祖皇宗の聖蹟（祖先敎本部編纂）白鳥博士、平田盛胤氏の校閲に成るもの殊に久春は堀栄山氏の補修潤色に係るものにして行文の莊重綺麗なること之れ現代式のメラクラ文章の比にあらず巧に歴史を說き時代を語り上は神代より現代に至るまで我皇國の一貫せる威嚴を說きて國民に其の帰向を明示したるものなり（六十錢伊勢宇治山田浦田町內宮前祖宗聖蹟會）

▲法治國（一二）十五錢東京・橫新肴町一東京法律事務所

▲食物の養生（三の二）十三錢東京牛込市谷甲良町五一石黒食養所

▲東方時論（二の一一）三十錢東京麴町四ノ一二東方時論社

▲我が家（二ノ一）五錢東京麴町飯田町二ノ五二帝國在鄉軍人會本部

▲國民評論（一の一三）十五錢東京麴町有樂一の三國民評論社

▲人文（三の一一）十四錢東京小石川白山御殿町一一七人文會事務所

▲讀賣新報（二九七）十八錢東京日本橋區箱崎町一四雅所

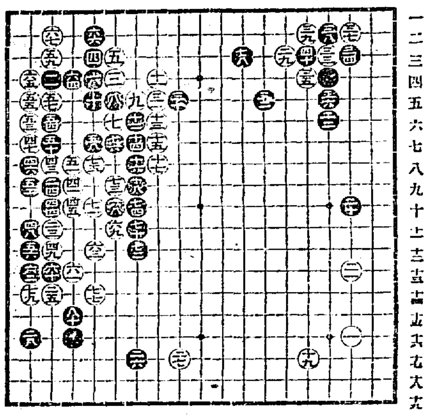
圍碁手合（四）

三段　山平壽氏　二子　大久保雅彥氏

白ノ三十六（一十一）ヨリ黑ノ十五（八十）手迄

イ　ロ　ハ　ニ　ホ　ヘ　ト　チ　リ　ヌ　ル　ヲ　ワ　カ　ヨ　タ　レ　ソ　ツ

一　二　三　四　五　六　七　八　九　十　十一　十二　十三　十四　十五　十六　十七　十八　十九

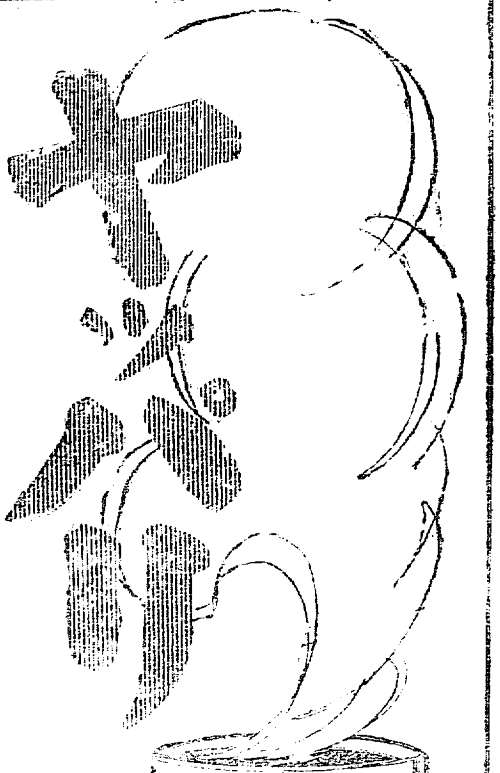


黑四十二は二の三にツグ

靈藥

中将湯

血の道・子宮病に一番ヨクキク良藥は中将湯よりほかにはありませんでした　カレコレ藥にお迷ひなされた者にキット出る言葉でございます



眞面目な中將湯！

クスリの眞價は唯だ效驗の一點にある、巧妙なる說明を附し、上等の包裝に飾るとも藥劑の價値は更に向上しないのである、中將湯のやうな眞にヨクキク効驗本位の藥劑でなくては良藥たる資格はない。世の婦人病者にして病める弱き心の迷ひより廣告などを信賴してアレコレといろ／＼服藥を試みた結局に…………ヤッパリ女のクスリは中將湯より他になかつたと悟らるゝなどの實例を聽くごとに中將湯の眞價と迷ひ氣の多い女心が推しはからる。

中將湯

東京日本橋通四丁目（本店）　本局　六二番・六三番　振替口座東京六〇八番
津村順天堂
大阪市堺筋大寶寺町（支店）　振替口座大阪四五六番　電話南一二十五番

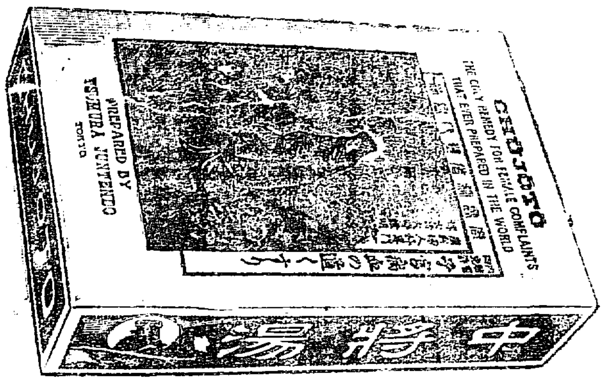
中將湯一週分容器の二分一

●加減藥あり容體詳しく申込まれよ

一週分　一圓
三週分　二圓七十錢

價定

二日分　二十五錢　二週分　一圓五十錢
四日分　五十錢　三週分　二圓十錢
一週分　八十錢　五週分　三圓二十錢



釜山出帆廣告

汽船　門司、神戸、大阪行
和歌浦丸　十一月十三日後五時出
立神丸　十二月二日後五時出
元山、淸津、浦鹽行
和歌浦丸　十一月十二日後十時出
立神丸　十二月十二日後四時出
佐須奈、嚴原、壹岐、博多行
大境丸　毎月二日九日十六日廿三日（十四）午後十時出帆
元山、西湖津、新浦、城津、淸津行
第三琴平丸　十一月　日後六時出
門司、宇品、神戸、大阪行
第三琴平丸　十一月　日後六時出
釜山本町　大池回漕部

仁川代理店　野口商會
本町四丁目（電話一七三番）
京城取次店　河村運送店

大阪共同汽船仁川出帆
阿波共同汽船株式會社
共同丸　十一月十一日　仁川午後入港
芝罘、大連行

日本郵船仁川出帆
大連行、芝罘經由
相模丸　十一月十四日
三河丸　十二月廿一日
正午出
仁川　郵船　回漕部

鐵原自動車部　金泉支部
開自動車着發時刻

白神洋行
仁川
ペイント、油類一式、コークス、セメント、耐火煉瓦、モルタル、スコップ、シャベル、帶革、ロープ、機械、工具附屬品其他
鋼材　浪板、平板　針金、洋釘
京城　朝鮮總督府　總代理店

模範牛乳
ニウソ
京城黄金町　東亞牧場
電話五二二番

りん病
ほい毒
京城南大門外　大阪ヒラマ堂
偽藥ニ御注意

尼崎汽船仁川出帆
秀吉丸　十一月二十三日後四時出
大角丸　十一月十八日後四時出
神代丸　十一月十四日後四時出

大阪商船仁川出帆
大連行
一月四日正午時出

朝鮮郵船
釜山支店　釜山港佐藤町
元山出張所　元山港海岸通
仁川代理店　堀回漕部
木浦代理店　山野回漕部
京城取扱店　松原運送店

○關門より釜山各地經由雄基行
第二通運丸　十一月廿五日
咸鏡丸　十一月十日
京城丸　十一月十五日
忠清丸　十一月二十日
釜山發

○元山より北鮮各地經由雄基行
鏡城丸　十一月十日
咸鏡丸　十一月十四日
三浦丸　十一月九日
成鏡丸　十一月十三日
京城丸　十一月十八日
元山發

○浦潮行
平壤丸　十二月十一日　元山發

○元山より釜山間行
二浦丸　十二月十五日
京城丸　十二月廿六日
元山發

○元山より釜山間行
咸鏡丸　十二月廿一日
忠清丸　十二月十一日
元山發

○鬱陵島行
春日丸　十二月八日　釜山發

○濟州島行
江陵丸　每日　釜山發

○濟州島行長承浦鹿木丁交島經由
昌平丸　十二月十二日　釜山發

○釜山、統營、濟州行
統營丸　每日　釜山發

○濟州島行
公州丸　十二月十六日　木浦發
慶興丸

○木浦、順天行
順天丸　三日每日　木浦發

○仁川、群山行
晋州丸　十二月十七日
麗水丸　仁川發

○仁川、南浦行
慶興丸　十二月十三日　木浦發
宗信丸　十二月十一日　仁川發

○海州行
金州丸　每日　仁川發
南陽丸　休航

○西鮮行
江原丸　十二月十七日　仁川發

大阪株式特電　十日後場

大阪期米　十日後場　當限　二十四圓四十錢

仁川米豆取引所